

村尾元畝編纂

增訂北海道要覽
前編

明治十九年

五月再版

村尾氏藏版

序

望崑崙者人曰彼崑崙不可躋而採
以爲備者矣苟不示以生以修之道
則聽者安得從其言耶拾赤水而
人曰此世之珠也之階之撈赤水廣矣
苟不論以生以修之途則聽者又
安得從其言耶故雅之珠玉之寶

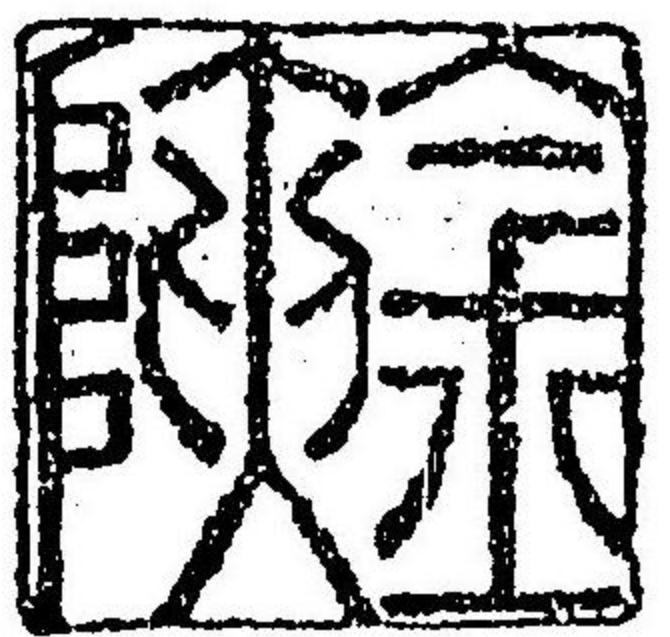
此審所宜且由一途為其法獲之
者之解矣國亦移民之術亦然
之山川一向皆其地之其土
紀汝棄地既瘠其心自棄廢之
某川之某漁之村運糧或便或
吾非凡舉之其勢固一書
之以示之于民則民安而志亦從

且內之自奮移住之志耶故未利
堅固之移殖人民用是法嘗撰一
書而頒之四方使觀者如目親其
境足蹈之地是以四方之民奮之
形勢所以備躍股久矣甲社廣波
濤浩家于彼者陸續接踵暑去而
秋使亦依此將海少海道之

者以爲願移住者之指示書也
本會使慶昌縣巡檢石村屋字元夙
熟北海形勢適者此爲本會家序
余亦其能進意はく意の善の移
民之要也則從之曰夫少海之土
地肥沃物產豐盛乃善地也其殊
く之寶面と有けし海以書其形勢

庶民氏志之所從由往而獲者
陸續接踵如彼本國移住之民也
子元曰く之哉之也清心此自易遂
書爲序明治甲申十月

金峽於木大亮撰



采鑛開道。其法既陳。則智
識可進。捕鯨射熊。其利
既獲。則勇氣可鼓。此編專
記北海十國。向化起業之事。
使讀者慨然有荷耒耜

冒艱險之概。簪者新井
白石著蝦夷志曰。蝦夷據山
為國。地多險阻。僅通鳥道。
其幅負廣狹不可得而詳。白
石學識卓絕。一代偉人。猶

且如此。以今視之。誰不笑其
陋。較之進智鼓勇。有功于世。
如此編者。果何如也。宋陳同
甫云。推倒一古智勇。開拓萬
古心胃。此可以評是冊。

明治庚辰夏日題于
霞樓之南軒

一六居士 修



嗚呼いたつかれたるかれこれの北海道要覽てふふみよ抑皇國の
人は昔より其心大らかにて都遠き鄙にすめる民等は只すへらま
のれほみれきてのまに／＼れのか手なれのことわさじのみ身を
打まけてあかと暮一つ、文字をよむとあるものをかそふる
そへなどにもうとかるれいつとかと西のはてなる國國よりちち
たきみちのわたりきよりもの、さとりも日毎にひらけゆく世
にすなりぬれはあれまてのありさまならんにそその國々の人に
もあさみ笑はれぬへとさるはいに年あめりりの船のはしめて
わたりまる來し時に皇國の田ちから貢もの、數はいかゝかりあ

二
るそと問詰られし人の一らすといはんもいとくちを一とやをも
ひけんた、れ一のかりにあかぬにて貳億ひらのかりとあたへた
りとなん今の世に吾すめる村とこの聊のさととも大かたのあ
らすとて燈臺もと暗とといへる諺にあたらんはあかぬさとそか
一されは北海道の人との要覽てふふとを朝よひによとうかへ
て吾も一り子うま子等にもつたへつ、なほ皇國の島のとまきく
山のくまくのさとをもとりつく一てもの、さどりの道一るへ
とあさんさとあそあらまほ一けれさて此ふとよ開拓使り萬つり
とつ公廨國郡民戸驛路陸路港灣のいふもさらなり學校蠶室電信
郵便のあり所より一て木草鳥獸蟲魚の類までもる、ことなく書

つめたりかくまていたつがれ一の誰そ函館の司人村尾ぬ一か晝
はれほやけことにいそ一める勞れをもいこつす一て夜はすから
に燈のもとに筆をとられ一なりけりやつかれにも一わたりよみ
てそのゆゑよ一ひとことは一かませよとこへる、にいなみかた
くてれもひ出ることともをあからさまにかくなん時の明治十三
年五月岡本長之いふ

增訂北海道要覽緒言

明治維新聖詔煥發蝦夷ヲ改メテ北海道ト爲シ開拓使
ヲ置キ之ヲ管スル十有四年榛莽ヲ闢キ人民ヲ移シ道
路ヲ通シ農桑ヲ振興シ漁獵ヲ勸奨シ採鑛工作運輸貿
易ヨリ郵便電信教育衛生警備等凡計畫施設スル所ノ
モノ本道ノ開進ヲ助ケ將來ノ富饒ヲ謀ルニ非ルナシ
是ニ於テ乎形勢一變復舊觀ヲ存セス明治十五年廢使
置縣ノ更革アル所以ノモノ職トシテ是ニ此由ル然レ
ニ拓地移民其ノ事業極メテ大ナリ素ヨリ僅々十有餘
年ニシテ顯著ノ成績ヲ見ルベカラズ之ヲ行旅ニ譬フ

ルニ百里ノ道程漸十里ヲ經過スルガ如シ故ニ置縣ノ
令出ルヤ法律規則ノ從前北海道ニ施行セサルモノハ
當分ノ内仍ホ從前ノ通タルベシト布告アリ今ヤ三縣
地方政治ヲ内地府縣ニ比スト雖徵兵令ハ函館縣下ノ
一部分ニ實施スルニ止リ而シテ別ニ屯田兵アリ國稅
ノ賦課未全ク内地ト同一ナラズ其ノ他諸般ノ制度多
少ノ異同アルモノ少シトセス又轉籍移住者ノ保護地
所拂下ノ特典若クハ捕魚採藻ニ係ル資本金ノ貸與等
内地府縣ニ無クシテ特ニ本道三縣ニ施行スル法令恩
典アリ究竟スルニ民力未洽ラズ治ヲ内地ニ均フスル

二

能ハサルヲ以テナリ蓋本道十一國八十七郡周圍六
百七十二里面積六千九十五方里地味肥沃農耕牧培ニ
適シ殊ニ水産ノ多キ内國ニ冠絶ス國家將來ノ富饒ヲ
圖リ利源ヲ開クハ本道ノ開拓ニ在リト云フモ決シテ
誣言ニ非サルナリ苟有志者ニシテ本道ニ移住シ利益
ヲ永遠ニ謀リ成功ヲ漸次ニ期シ應分ノ資本ヲ注入セ
バ農耕ニ漁獵ニ製煉採鑛ニ工作商事ニ其ノ目的ヲ達
シ其ノ事業ヲ興ス豈難レトセンヤ然レモ本道ニ移住
シ應分ノ資本ヲ注入シ一事業ヲ興起セント欲セバ先
實地ヲ經歷シ且書冊ヲ參考シ農耕漁獵ノ方法ヨリ運

三

輸ノ便否商況物價ノ如何等ニ至ルマテ大概之ヲ胸臆ニ收メ然ル後其ノ着手ノ目的ヲ確定シ徐々計畫勉勵忍耐スルヲ必要トス否ザレバ狙ヒヲ定メズシテ矢ヲ放ツト一般其ノ目的ニ達スル能ハス加之或ハ左躡右顛一生ヲ誤ルヲナシトセズ方今世人ノ本道ニ移住シ永遠ノ生計ヲ圖ルモノ日一日ヨリ多シ而シテ其ノ目的ヲ達セズ困頓窮愁僅ニ跡ヲ漁業雇人ニ寄セ或ハ蕩産廢業終ニ其ノ之ク所ヲ知ラサルモノ往々少シトセズ究竟スルニ本道ノ景況ヲ知ラズ輕舉家ヲ舉ケテ移住スルガ故ナリ余乏キヲ開拓使及函館縣ニ承ク函館

ニ留住スル十餘年移住者ノ實況ヲ見聞シ常ニ以テテ遺憾トセリ乃淺劣ヲ顧ミズ此ノ書ヲ編シテ以テテ印刷ニ付ス素僅々二小冊子本道ノ實況一斑ヲ記述スルニ過キス然レモ余ヲ以テテ之ヲ見ルニ世ノ本道ニ志アルモノ之ヲ以テテ傳火ノ薪ト爲サバ則豈小補ナシトセンヤ若夫其ノ全豹ヲ知ント欲セバ官廳緻密ノ統計表報告書等アリ看者幸ニ之ヲ諒セヨ

明治十八年二月

村尾元長誌

凡例

一此篇ハ明治十三年七月編纂刊行ノ現今北海道要覽
ヲ校訂増補シ近時北海道ノ概況ヲ見ルノ一助ト爲
スニ在リ故ニ題シテ増訂北海道要覽ト云フ
一十三年刊行ノ書ハ十二年ノ末原稿稍成ルニ及ンテ
火災ニ罹リ其過半ヲ失フ故ニ殘篇ニ就キ多少補正
ヲ加ヘリト雖漁業通運移住民築造歳出入稅則等ノ
諸項皆之ヲ欠ケリ本篇ハ此數項其他増補スルモノ
極メテ多シ故ニ前後二篇十九章一百九款トシ又款
ヲ分ナテ數節トス

一記事ハ務メテ現今ノ實況ヲ見ルヲ目的トスト雖既往ニ遡リ沿革ヲ叙述スルモノアリ此其素因ヲ知ルヲ必要トスルモノアレバナリ又統計ニ關スルモノハ三年乃至五年ヲ表章シ或ハ現今ト往昔ヲ比較スルモノアリ此本道ノ進否ヲ微知スルノ便ヲ圖ルニ在リ

一記事ハ正確ヲ期スルガ故ニ引用書ハ各官廳ノ刊行圖書表記若クハ布告布達若クハ時々ノ報告雜誌等ニ基キ廢存ヲ校訂スト雖近時ノ景況ハ参考書ニ乏キヲ以テ實見ニ因リテ記述シ或ハ傳聞ニ取リテ書

ス然レモ正確ノ憑據アルモノニ非サレバ採ラズ

一行文ハ雅俗ニ拘ハラヌ務メテ平易ヲ主トス地名物名等ハ初出ニ於テ假名ヲ付シ或ハ方言ヲ註ス但文字一定セサルモノハ官版ノ圖書ニ基キ文字ヲ填シ其考據スベカラサルモノハ假名ヲ用ヒ或ハ慣用文字ニ從フ

一國郡町村ハ郡區町村ハ詳悉シ其他ハ概郡區町村ヲ記シ國名ヲ略ス函館札幌ハ區ト單稱ス但其町村不分明ノモノハ姑ク郡區名ニ止ム

一數量價值ハ大抵冗長ヲ厭ハズ何百何十何々ト記ス

儘圖位石位反位等ニ止ムルモノアリ各款ノ初ニ記註ス

一余此篇ヲ編輯スル十六年三月ニ始マリ十七年二月ニ至ツテ稍成ル其事全道三縣ニ係ルヲ以テ材料ノ蒐輯極メテ難シ偶々友人石田良助余ト志ヲ同シ材料ノ蒐輯ヲ助ケ得ル所少カラズ而シテ編輯一年余ニ亘リ前後形勢變更一ニシテ足ラズ再三改正ヲ加ヘ且追補スル所アリト雖未ダ誤膠脫漏ヲ免レズ看者幸ニ之ヲ恕シ示教ヲ吝ム勿レ

明治十八年二月

編者誌

增訂北海道要覽目次

前篇

第壹章 土地

- 第壹款 縣廳位置 一 丁
- 第貳款 所管國郡 二 丁
- 第三款 郡區町村 三 丁
- 第四款 裁判區畫 二十二 丁
- 第五款 面積、周圍 二十四 丁
- 第六款 經緯度 二十五 丁
- 第七款 氣候 二十七 丁

目次

第一	氣象ノ一	二十七丁
第二	氣象ノ二	二十八丁
第三	測候所	三十一丁
第八款	地籍	三十二丁
第九款	開墾反別	三十五丁
第十款	山嶽ノ景況	三十九丁
第十一款	河川ノ景況	四十七丁
第十二款	島嶼ノ景況	五十九丁
第十三款	港灣ノ景況	八十一丁
第十四款	岬角ノ景況	百十四丁

第十五款	暗礁ノ景況	百二十三丁
第十六款	海峽ノ景況	百二十六丁
第十七款	湖沼ノ景況	百三十一丁
第十八款	山林原野	百三十五丁
第十九款	温泉	百五十丁
第二十款	瀑布	百五十五丁
第二十一款	渡船場	百五十九丁
第二十二款	里程	百六十五丁
第一	驛路里程	百六十五丁
第二	三府四港近縣里程	百七十四丁

第三 海路里程

百七十五丁

第二章 戶口

第壹款 全道戶數人員

百七十七丁

第貳款 縣別戶數人員

百七十八丁

第三款 港市戶數人員

百八十一丁

第四款 舊土人戶數人員

百八十五丁

第五款 居留外國人戶數人員

百八十七丁

第六款 戶口增減ノ景況

百八十九丁

第三章 官事

第一款 三縣官吏郡區吏戶長ノ數 百九十五丁

第二款 議員、總代人ノ數 百九十七丁

第三款 裁判所所在地及官吏ノ數 二百丁

第四款 裁判件數 二百五丁

第五款 警察署 二百十三丁

第六款 監獄署 二百十七丁

第七款 北海道事業管理局 二百二十三丁

第八款 驛遞出張局 二百二十五丁

第九款 稅關 二百二十六丁

第十款 船政所 二百二十六丁

第十一款 集治監 二百二十八丁

第一	樺戶集治監ノ景況	二百二十八丁
第二	空知集治監ノ景況	二百三十二丁
第十二款	船舶検査所	二百三十三丁
第十三款	領事館	二百三十四丁
第四章	兵事	二百三十五丁
第壹款	鎮臺兵	二百三十五丁
第貳款	砲兵	二百三十六丁
第三款	屯田兵	二百三十七丁
第一	士官兵卒及戸數人員	二百三十八丁
第二	農業其他ノ景況	二百三十九丁

第五章 教育

第一款	官立學校	二百四十七丁
第貳款	縣立學校	二百五十三丁
第三款	町村立學校	二百五十九丁
第四款	私立學校	二百六十三丁
第五款	舊土人教育ノ景況	二百六十六丁
第六款	教育ニ關スル會合	二百六十七丁

第六章 衛生

第壹款	縣立病院	二百七十一丁
第二款	町村立病院	二百七十二丁

第三款	私立病院附開業醫	二百七十五丁
第四款	患者及種痘兒ノ數	二百七十六丁
第五款	醫學所及產婆教授所	二百七十八丁
第七章	農業	二百七十九丁
第一款	著名農產物ノ收穫高	二百七十九丁
第二款	農業期節	二百九十五丁
第三款	官園及試驗場等ノ景況	二百九十八丁
第一	葡萄園	三百丁
第二	葎草園	三百一丁
第三	札幌育種場	三百二丁

第四	七重試驗場	三百二丁
第五	札幌菓樹園	三百十三丁
第六	穗香官園	三百十三丁
第四款	養蠶ノ景況	三百十三丁
第一	札幌地方ノ養蠶概況	三百十八丁
第二	函館地方ノ養蠶概況	三百二十三丁
第三	根室地方ノ養蠶概況	三百二十四丁
第五款	牧蓄ノ景況	三百二十四丁
第一	真駒內牧牛場	三百二十八丁
第二	新冠牧馬場	三百三十丁

第三	札幌綿羊場	三百三十二丁
第四	根室牧牛馬場	三百三十三丁
第五	札幌牧豚場	三百三十三丁
第六	七重試驗場ノ牧畜概況	三百三十四丁
第七	桔梗野綿羊場	三百三十六丁
第八	民有牛馬ノ數	三百三十八丁
第九	牛馬市	三百四十丁
第十	競馬	三百四十二丁
第六款	農業會社	三百四十二丁
第七款	農業ニ關スル會合	三百五十七丁

第八章 工業及製造

第壹款	官設諸工場ノ概況	三百五十九丁
第一	札幌麥酒釀造所	三百五十九丁
第二	札幌製粉所	三百六十丁
第三	札幌製網所	三百六十一丁
第四	札幌味噌醬油製造所	三百六十三丁
第五	札幌葡萄酒釀造所	三百六十四丁
第六	石狩美々鐘詰所	三百六十五丁
第七	札幌工事試驗所	三百六十七丁
第八	札幌紡織場	三百六十七丁

- 第九 水車器械所 三百七十二丁
- 第十 木工所 三百七十二丁
- 第十一 鍊鉄所 三百七十三丁
- 第十二 鑄造所 三百七十三丁
- 第十三 製鐵器械所 三百七十四丁
- 第十四 蒸氣木挽器械所 三百七十四丁
- 第十五 厚別水車器械所 三百七十四丁
- 第十六 根室木挽器械所 三百七十五丁
- 第十七 厚岸罐詰所 三百七十六丁
- 第十八 別海罐詰所 三百七十六丁

第二款 民設諸工場ノ概況

- 第一 製革所 三百八十三丁
- 第二 鱈肝油製造所 三百八十四丁
- 第三 煉化石製造所 三百八十六丁
- 第四 製油所 三百八十六丁
- 第五 製漿所 三百八十七丁

第六	製氷所	三百八十八丁
第七	函館機械製造所	三百九十丁
第八	厚岸器械所	三百九十三丁
第九	各地造船所	三百九十三丁
第三款	酒類釀造	三百九十七丁

後篇

第九章 商業

第一款	輸出入ノ景況	四百〇一丁
第一	内國輸出入ノ景況	四百〇五丁
第二	海外輸出入ノ景況	四百三十七丁

第二款	銀行ノ景況	四百四十三丁
第三款	會社ノ景況	四百四十八丁
第四款	物價ノ概略	四百六十三丁
第五款	實銀ノ概略	四百六十九丁
第六款	金利ノ景況	四百七十六丁

第十章 漁業

第一款	著名水産物ノ收穫高	四百七十九丁
第二款	漁業ノ季節	五百〇三丁
第三款	漁網ノ種類員數	五百〇六丁
第四款	漁民戸口及漁業雇夫ノ數	

其給料

五百〇九丁

第五款 水産物ノ保護

五百二十一丁

第一 漁業及昆布採取資本金

五百二十二丁

第二 禁令示達ノ概要及海産

干場ノ制魚苗成育等

五百二十五丁

第十一章 獵業

五百四十二丁

第壹款 鹿獵

五百四十二丁

第貳款 熊狼獵

五百四十八丁

第三款 烏鴉獵

五百四十九丁

第四款 臘虎獵

五百五十丁

第十二章 鑛業

五百五十二丁

第一款 幌内煤田 附近傍炭山

五百五十二丁

第二款 岩内煤田

五百六十丁

第三款 借區及試掘

五百六十七丁

第四款 鑛礦所在地

五百七十二丁

第十三章 通運

第一款 陸運ノ景況 附陸運改良事業

五百七十九丁

第二款 車輛ノ數

五百八十七丁

第三款 鐵道

五百八十九丁

第一 起業ノ概略

五百八十九丁

十七

第二	線路ノ景況	五百九十二丁
第三	土功ノ景況	五百九十七丁
第四	營業ノ景況	六百〇二丁
第五	貨物及乘客賃銀	六百〇四丁
第四款	電信	六百十五丁
第五款	郵便	六百十八丁
第一	局名位置等級	六百十八丁
第二	郵便線路遞送時間	六百二十一丁
第六款	海運ノ景況	六百二十七丁
第一	海運沿革	六百二十七丁

第二	航海線路及運賃	六百三十一丁
第三	船舶ノ數	六百三十八丁
第四	各港出入船舶ノ數	六百四十一丁
第五	帆船競走紀略	六百五十丁
第六	掖濟會及製帆所	六百五十三丁
第十四章	築造	六百五十五丁
第一款	土功ノ概況	六百五十五丁
第二款	燈臺礁標浮標	六百五十八丁
第十五章	國稅	六百六十五丁
第一款	國稅ノ異同	六百六十五丁

第二款 物産税ノ税率

六百七十七丁

第三款 國税ノ收入

七百〇四丁

第十六章 縣ノ歳入出及協議費賦金出

港税地方税ノ乘率

七百〇八丁

第一款 縣ノ歳入

七百〇九丁

第二款 縣ノ歳出

七百十丁

第三款 協議費及賦金

七百十四丁

第四款 出港税ノ税率

七百十八丁

第五款 地方税ノ税率

七百十九丁

第十七章 物産

第一款 物産種類ノ概略

七百三十一丁

第二款 共進會

七百四十七丁

第十八章 移住民

七百五十二丁

第一款 移住民ノ心得

七百五十三丁

第二款 移住民ノ景況

七百八十七丁

第一款 有珠移住民

七百八十七丁

第二款 當別移住民

八百〇二丁

第三款 遊樂部移住民

八百〇八丁

第四款 靜内移住民

八百十四丁

第五款 室蘭幌別移住民

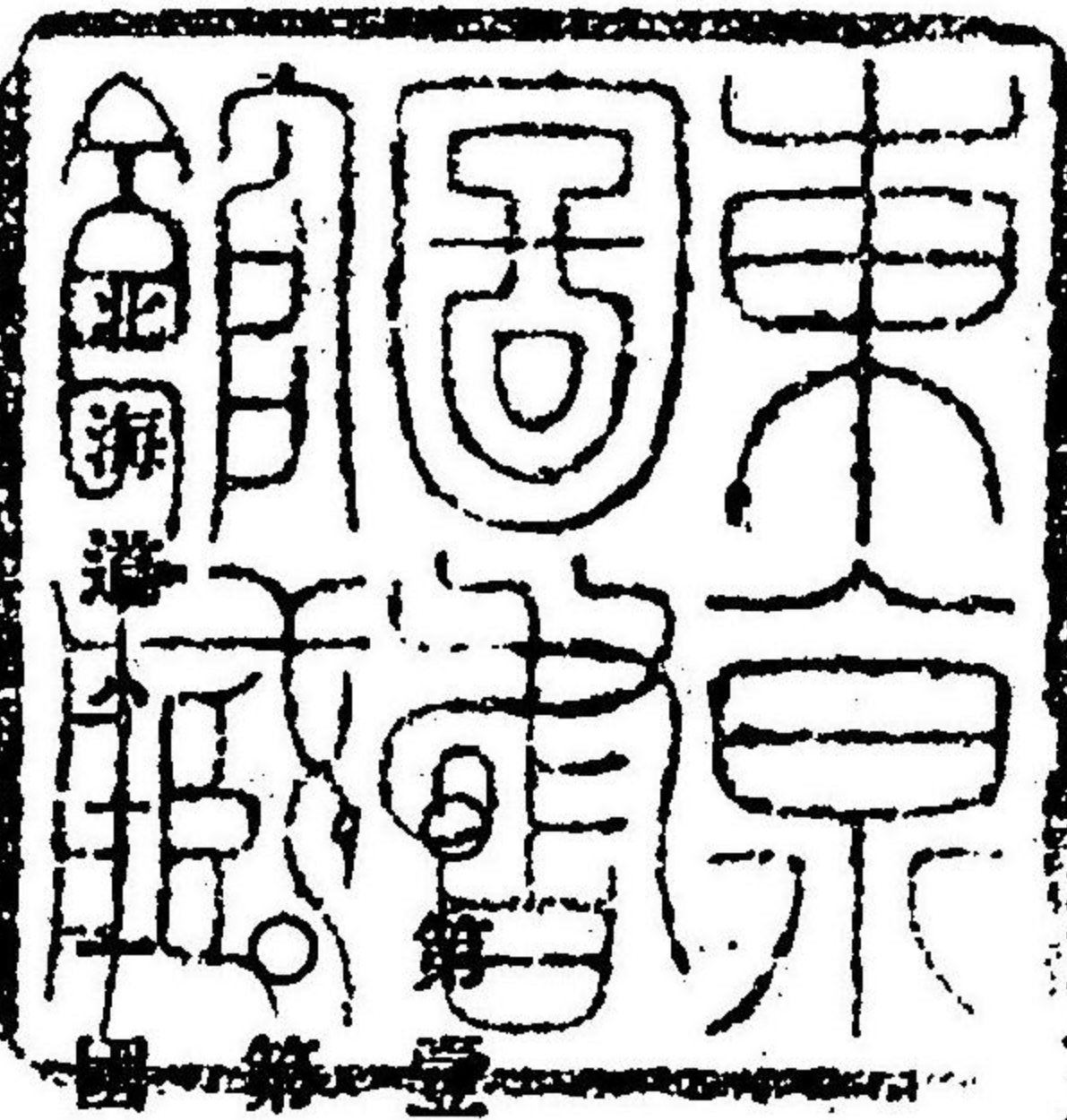
八百十七丁

第六	札幌地方ノ移住民	八百二十三丁
第七	石狩地方ノ移住民	八百三十丁
第八	余市瀨棚歌棄地方ノ移 住民	八百三十一丁
第九	浦河沙流地方ノ移住民	八百三十五丁
第十	山田松村兩氏開墾場其 他ノ景況	八百三十六丁
第十九章	雜事	
第一款	博物館	八百四十丁
第二款	公園	八百四十丁

第三款	會堂	八百四十二丁
第四款	女紅場	八百四十四丁
第五款	育兒會社	八百四十五丁
(追補)	此一書脫稿ノ後改正新創 ノ諸事ヲ追録ス	八百四十九丁

目次了

增訂北海道要覽 前篇



館札幌根室ノ三縣ヲ置カハル縣廳位置左ノ如シ

土地

縣廳位置

第壹款

函館縣廳 渡嶋國函館區元町壹番地

札幌縣廳 石狩國札幌區南一條西三丁目八番地

根室縣廳 根室國根室郡常盤町八丁目

○第貳款 所管國郡

縣廳位置 所管國郡

村尾元長 編纂

三縣所管ノ國郡左ノ如シ

函館縣

渡嶋國

一圓

後志國ノ内

八郡

磯谷郡

久遠郡

夷壽尻郡

大牧郡

膽振國ノ内

一郡

山越郡

札幌縣

石狩國

日高國

十勝國

天鹽國

一圓

後志國ノ内

九郡

小樽郡

高島郡

余路市郡

美内郡

古平郡

積丹郡

膽振國ノ内七郡

虻田郡

有珠郡

千室郡

幌別郡

北見國ノ内四郡

宗谷郡

枝幸郡

利尻郡

禮文郡

根室縣

根室國 釧路國

千島國 一圓

北見國ノ内四郡

紋別郡

常呂郡

網走郡

斜里郡

○第三款

郡區町村

函	縣	國	郡	區	郡區役所位置	町	村
						元町、會所町、汐見町、曙町、壽町、青柳町、春日町、相生町、住吉町、谷地頭町	

郡區町村

三

二

松前郡	上磯郡	
-----	-----	--

松前郡役所川原町
 松前郡役所川原町
 松前郡役所川原町
 松前郡役所川原町

- 大松前町、枝ヶ崎町、中町、袋町、横町、湯殿澤町、新荒町、小松前町、松城町、石町、唐津内町、津内町、西館町、唐津内町、社堂町、生符町、白河町、愛宕町、博知、垂石村、赤神村、札前村、根部田村、總、原口村、江尻村、清部村、茂草村、雨、村、中野村、清川村、知内村、小谷石村、別村、茂邊地村、富川村、谷好村、上磯、木古内村、札苅村、泉澤村、釜谷村、石、戸井村、尻内村、假法華村、渡村、藤城村、軍川村、七飯村、小安村、村、大野村、本郷村、文月村、昨下村、市、村、大野村、本郷村、文月村、昨下村、市、

五

龜田郡	函館區	渡
-----	-----	---

龜田郡龜田村
 函館區
 渡

- 大中山村、一本木村、千代田村、鶴野、治村、神山村、赤川村、石川村、桔梗村、志苔村、錢龜澤村、石崎村、龜尾村、鍛、龜田村、下湯川村、根崎村、上湯川村、泊町、東川町、大森町、富岡町、天神町、旅籠、町、鍛治町、船見町、駒止町、登町、山脊、町、鶴岡町、若松町、音羽町、高砂町、大、船塙町、惠比須町、蓬萊町、沙留町、寶、大町、仲濱町、末廣町、東濱町、地蔵町、鱒淵町、辨天町、西濱町、幸町、大黒町、

四

後			
奥尻郡	久遠郡	爾志郡	

置村久
キニ遠
久郡郡
遠役一
奥所艘
尻ヲ間

郡ヲ管ス

姥神町、津花町、濱茂尻町、酒田町、新
 地裏町、新地町、法華寺町、上野町、佐
 平治町、彌陀堂町、切石町、影之町、澤
 茂尻町、中茂尻町、小平澤町、碓町、寺
 小屋町、五勝手村、北村、大留村、上ノ
 國村、木ノ子村、石崎村、沙吹村、小砂
 子村、
 熊石村、泊川村、相沼内村、蚊柱村、三
 ツ谷村、突符村、小茂内村、乙部村、
 太田村、上古丹村、久遠村、湯尻村、平
 田内村、貝取潤村、長磯村、
 釣懸村、赤石村、藥師村、青苗村、

館

嶋

檜山郡

キニ檜
檜郡山
山役郡
爾所中
志ヲ歌
ニ置町

木石町、豐部内町、九艘川町、中歌町、
 北新町、中新町、川原新町、片原町、
 崎村、伏木戸村、田澤村、泊村、東新町、
 鷓村、館村、俄虫村、土橋村、目名村、柳
 鹹川村、小黒部村、赤沼村、安野呂村、
 村、
 禮髭村、吉岡村、宮歌村、白符村、福嶋
 上及部村、大澤村、荒谷村、炭燒澤村、
 傳治澤町、山之上一町、寅向町、及部町、
 上町、東中町、東下町、東新町、泊川町、
 上町、馬形中町、馬形下町、端立町、東
 藏町、中河原町、川原町、神明町、馬形

縣					
志					
磯谷郡	歌楽郡	嶋牧郡	壽都郡	瀬棚郡	太櫓郡
管乘キニ壽 ス磯壽郡都 谷都役郡 四島所渡 郡收ヲ島 ヲ歌置町			ヲ太 管櫓 ス瀬 棚 四 郡		
尾札部村、白尻村、熊泊村、鹿部村、砂尻別村、能津登村、嶋古丹村、横淵村、	美谷村、種前村、有戸村、潮路村、作開村、熱郷村、	透村、千走村、原歌村、	歌嶋村、本目村、輕臼村、永豐村、江泥	岩崎町、開進町、	湯別村、樽岸村、六條町、大磯町、渡嶋町、新榮町、矢追町、政泊村、黒松内村、
柵村、	島歌村、此羅村、中歌村、梅花都村、瀬	太櫓村、古櫓多村、長瑠石村、鶴泊村、			

札		
石		
札	越山郡	渡島郡
札幌區	山越郡	茅部郡
札幌區、西五丁區、南二條、役所街、置管ス	茅部郡、山越郡、二郡	茅部郡、所森置キ
圓山村、琴似村、上手稻村、發寒村、下	東四丁目、篠路通、	八丁目、西九丁目、西十丁目、西十一丁目、東一丁目、東二丁目、東三丁目、
目、西五丁目、西六丁目、西七丁目、西	一丁目、西二丁目、西三丁目、西四丁	條、北三條、北四條、北五條、北六條、西
南五條、南六條、南七條、北一條、北二	條、北三條、北四條、北五條、北六條、西	大通、南一條、南二條、南三條、南四條、
山越内村、長萬部村、八雲村、	蛇谷村、石倉村、落部村、宿野邊村、	原村、掛淵村、森村、尾白内村、鷺木村、

後		濱益郡	厚田郡
小樽郡	管路キニ小 ス余小郡樽 市樽役郡 四高所信 郡島ヲ香 ヲ忍置町		登キニ石 三石郡狩 郡狩役郡 ヲ厚所親 管田ヲ船 ス濱置町
町入船町花岡町曙町港町堺町住	町量徳町住ノ江町至五丁目永井	新地町金曇町龍徳町若松町開運	澤村川原町高砂町土場町芝居町
		町勝納町潮見町新富町真榮町興	銭函村張碓村朝里村熊碓村若竹
		村群別村	川下村實田村柏木村尻苗村茂生
		畫村	聚富村望來村嶺泊村古潭村押琴
		村小谷村別狩村厚田村安瀬村濃	

狩						札幌郡
石狩郡	夕張郡	空知郡	雨龍郡	樺戸郡	上川郡	
						六戸(キ)幌役ニ當 郡雨夕郡所條分 ヲ語張(市)ヲニ札 分上空街置札幌 轄川知ヲキ幌區 スノ樺除札郡南
生振村當別村篠津村樽川村	場町親船町花畔町若生町八幡町	本町辨天町新町濱町横町仲町船	市來知村幌内村幌向村	月形村	村江別村	手稻村山口村山鼻村豐平村上白
						石村白石村平岸村月寒村札幌村對雁
						雁來村苗穂村丘殊村篠路村對雁

膽		志		
蛇田郡	室蘭郡	古宇郡	岩内郡	積丹郡
管珠キニ室 ス幌室郡蘭 別蘭役郡 四址所札 郡田ヲ幌 ヲ有置通		二五町岩 郡キニ内 ヲ岩郡郡 管内役御 ス古所銚 々々内		
有珠村、長流村、東紋籠村、西紋籠村、	禮文村、辨邊村、此田村、	濱町、本町、	千舞籠村、室蘭村、輪西村、繪鞆村、札 幌通西小路町、澤町、幕西町、常盤町、	村、來岸村、余別村、神岬村、 茅沼村、堀株村、發足村、翠野舞納村 御銚内町、幌似村、小澤村、老古美村、 稻穂崎村、堀町、吹上町、堀江町、三島 町、難波町、野東村、敷島内村、 珊瑚内村、赤石村、神惠内村、興志内村、 盃村、泊村、

美 國 郡	古 平 郡	余 市 郡	忍 路 郡	高 嶋 郡
丹キニ古 三古郡平 郡平役郡 ヲ美所濱 管國ヲ中 ス積置村				
美 村、 出岬村、入船村、日司村、野塚村、西河	入船町、新地町、群來村、 沖村、澤江村、歌樂村、濱中村、垂美村、 船淵村、小泊村、厚苦村、幌武意村、婦	道村、山白町、沖村、仁木村、大江村、 澤町、富澤町、中町、琴平町、梅川町、山 黒川村、山田村、番部村、濱中町、川村、	鹽谷村、忍路村、桃内村、蘭嶋村、 嶋村、祝津村、	色内町、手宮町、手宮裏町、稻穂町、高 初町、相生町、

浦河郡	靜内郡	新冠郡	
-----	-----	-----	--

村、西舍村、杵臼村、
 浦河村、井寒壘村、幌別村、向別村、後
 柳村、姉茶村、後邊、戸村、野深村、荻伏
 春立村、音江村、遠別村、
 藥村、有良村、姉蟹村、佐妻村、柄別村、
 村、遠佛村、幕別村、市父村、農家村、碧
 下々方村、中下方村、上下方村、目名
 村、萬揃村、滑岩村、
 比宇村、泊津村、高江村、去童村、姉去
 大狩部村、葉朽村、受乞村、元神部村、
 村、厚別村、菜實村、
 村、荷菜摘村、波惠村、慶能舞村、賀張

幌				
日	振			
沙流郡	千歳郡	白老郡	勇拂郡	幌別郡 有珠郡

勇拂郡 苦
 千歳郡 新
 白老郡 老
 幌別郡 所
 有珠郡 小
 管 役 牧

黄金、藥村、
 幌別村、幌別村、登別村、
 梅前村、覺生村、錦多、峯村、小糸、魚村、
 苦小、牧村、勇拂村、厚真村、鶴川村、井
 目戸村、萌別村、生監村、似灣村、累標
 村、穂別村、邊富内村、植苗村、
 敷生村、白老村、社登村、
 千歳村、出越村、烏柵舞村、長都村、漁
 村、嶋松村、
 佐瑠太村、富仁家村、平賀村、紫雲古
 津村、荷菜村、平取村、二風谷村、荷負
 村、長知内村、幌去村、貫氣別村、門別

北		勝			中川郡
枝幸郡	宗谷郡	上川郡	河東郡	河西郡	
文利尻四郡幸ナ	宗谷郡役所ヲ置				
頓別村、枝幸村、歌登村、禮文村、	村、猿拂村、	人舞村、屈足村、	美蔓村、	音更村、然別村、東士狩村、西士狩村、	鷺拔村、賣貴村、上帶廣村、
	拔海村、稚内村、聲問村、宗谷村、泊内			生村、茅室村、羽帶村、幸震村、戸蔦村、	荆苞村、下帶廣村、伏古村、迫別村、美
				嫌侶村、本別村、蝶多村、止若村、咄別	村、幕別村、白人村、別奴村、
				邊村、押帶村、勇足村、幌蓋村、負服村、	

十			高		
十勝郡	當麻郡	廣尾郡	幌泉郡	樣似郡	三石郡
			一西 部河 ヲ東 管上 ス川	似十 幌勝 泉中 廣三 石尾 ヲ石	浦郡 役所 浦河 置村
村、愛牛村、	大津村、長白村、監奴村、十勝村、生剛	歷舟村、當麻村、大樹村、	茂寄村、	村、油駒村、小越村、庶野村、猿留村、	近呼村、笛舞村、幌泉村、歌別村、歌露
旅來村、安骨村、豐頃村、十弗村、洞寒	村、樣舞村、摺牛村、信取村、蓋派村、居			村、誓内村、二七村、岡田村、	村、鶺鴒村、樣似村、平鶴村、冬嶋村、幌滿
				村、歌笛村、	狹布村、邊訪村、幌毛村、龜舞村、本桐

追補
参考

根					
千	室			根	
國後郡	目梨郡	標津郡	野付郡	花咲郡	根室郡

守後付キニ根
九得標根郡室
郡撫津室役郡
ヲ新目花所常
管知梨咲ヲ盤
ス占國野匠町

賣村、	本町、花咲町、梅ヶ枝町、鳴海町、有磯町、松ヶ枝町、彌榮町、常盤町、綠町、彌生町、根室村、穗香村、幌茂尻村、厚別村、西別村、走古潭村、	花咲村、友知村、沖根婦村、瑠璃瑠村、落石村、昆布盛村、沖根邊村、垂舞村、婦羅理村、	別海村、平糸村、野付村、茶志骨村、	標津村、伊茶仁村、	忠類村、霧別村、植別村、崎無異村、	泊村、東沸村、留夜別村、米戸賀村、秩別村、
-----	--	---	-------------------	-----------	-------------------	-----------------------

縣						
鹽			天	見		
上川郡	中川郡	天鹽郡	留萌郡	増毛郡	利尻郡	禮文郡

毛川キニ増
六上留郡毛
郡川筋役郡
ヲ苦天所辨
管前鹽ヲ天
ス増中匠町

苦前村、白志泊村、力盡村、燒尻村、天	砂流村、幌延村、天鹽村、遠別村、	受村、	鬼鹿村、天登雁村、三泊村、留萌村、禮	塞町、別笥村、岩尾村、	村、野塚町、永壽町、七源町、島中町、	阿分村、舍熊村、増毛村、辨天町、稻葉	形村、本泊村、	鴛泊村、石崎村、鬼脇村、仙法志村、香	神崎村、船泊村、香深村、尺忍村、
--------------------	------------------	-----	--------------------	-------------	--------------------	--------------------	---------	--------------------	------------------

室					
路		劍		嶋	
阿塞郡	川上郡	白糠郡	劍路郡	厚岸郡	占守郡 新知郡 得撫郡
			寄嶽々ニ厚 六川厚郡岸 郡上岸役郡 ヲ阿劍所灣 管寒路ヲ月 ス足白置町		

舌辛村、漱別村、蘇牛村、飽別村、	虹別村、	塘路村、熊牛村、弟子屈村、屈斜路村、	白糠村、庶路村、尺別村、	仙鳳趾村、米町、真砂町、	劍路村、桂戀村、昆布森村、跡永賀村、	村別寒邊牛村、紋靜村、琵琶瀬村、	海月町、樺町、濱中村、松葉町、梅香町、若竹町、苦多	村、奔渡村、真龍村、床潭村、末廣村、散布村、瑠璃瀨	、	、	、
------------------	------	--------------------	--------------	--------------	--------------------	------------------	---------------------------	---------------------------	---	---	---

北					嶋 千		足寄郡
斜里郡	網走郡			薬取郡	紗那郡	擇捉郡	振別郡
	管呂々ニ網 ス紋網郡走 別走役郡 四斜所網 郡里ヲ走 ヲ常置村			管那々ニ振 ス葉振郡別 取別役郡 四擇所振 郡捉ヲ別 ヲ紗置村			

常呂村、少牛村、鑓沸村、生顔常村、太	別村、	蒼瑠村、止別村、斜里村、朱圓村、遠音	絹村、翻木禽村、	美幌村、杵端邊村、古梅村、活汲村、達	履村、藻琴村、娜寄村、瀉沸村、北見町、	能取村、最寄村、網走村、勇仁村、新栗	薬取村、乙今牛村、	紗那村、有苗村、留別村、別飛村、	丹根萌村、内保村、	老門村、振別村、	陸別村、利別村、足寄村、螺澗村、
--------------------	-----	--------------------	----------	--------------------	---------------------	--------------------	-----------	------------------	-----------	----------	------------------

縣	
常呂郡	紋別郡
茶苗村、野附牛村、手師學村、	紋別村、藻籠村、瑠椽村、渚滑村、幌內村、興部村、澤木村、湧別村、沙留村、雄武村、

諸裁判所ノ區畫ハ左ノ如ク
○第四款 裁判區畫

函館					控訴
弘前					始審
八戸	五所河原	青森	鯉ヶ澤	弘前	治安
青森縣					縣名
陸奥	陸奥	陸奥	陸奥	陸奥	國名
三ノ戸	北津輕	上北、輕内、下北	西津輕	南津輕	區
					郡

控訴									
函館			札幌				根室		
函館	江差	扁山	壽都	札幌	浦川	增毛	小樽	岩内	根室
函館縣			札幌縣				根室縣		
陸奥	後志	渡島	後志	石狩	十勝	天北	後志	後志	根室
函館區、龜田、上磯、茅部、	山越	檜山、南志、久遠、太樺、瀬棚、奥尻、	松前、	鳴牧、壽都、歌樂、磯谷、	此札幌區全七郡	全七郡	全六郡	全八郡	全五郡

周圍面積

○第五款 周圍及面積

本道周圍及面積諸書記載スル所一ナラス今第二統計年鑑
其他二三ノ書ヲ參考シ北海道本地千嶋ヲ分チ且ツ三縣ヲ
區分スレハ左ノ如シ

○周圍

北海道本地 五百八十三里三三

千嶋島三十 八十九里一二

合計 六百七十二里四五

○面積

北海道本地 五千〇五十六方里七八

屬嶋 五十二方里三五

合計 五千百〇九方里一三

千嶋島三十 九百八十六方里二三

○縣別面積

函館縣 五百十四方里五七

札幌縣 三千二百四十五方里五一

根室縣 二千三百三十五方里二八

合計 六千〇九十五方里三六

○第六款 經緯度

北海道本地

極東 醜丹島 花咲郡 東經百四十六度三十七分

極西 大渡島 西端郡 西經百三十九度十一分

極南 小渡島 南端郡 北緯四十一度二十一分

極北 北見國 宗谷郡 北緯四十五度三十分

經緯度

千島

極東 占守郡 占守端 東經百五十六度三十二分
 極西 國後郡 クルチ山端 西經百四十五度二十一分
 極南 國後郡 ケラヒイ岬端 北緯四十三度三十九分
 極北 占守郡 アライト島端 北緯五十度五十六分

函館縣廳

函館區 北緯 四十壹度四十五分五十四秒
 東經 百四十度四十三分六秒

札幌縣廳

札幌區南一條 北緯 四十三度三分三十五秒
 西三丁目 東經 百四十壹度貳十貳分三十七秒

根室縣廳

根室郡 松ヶ枝町

北緯 四十三度貳十分十六秒
 東經 百四十五度三十四分五十七秒

但根室縣廳ハ曩ニ火災ニ罹リ現今根室郡常盤町八丁目ニ新築スト雖其經緯詳ニ知ルヲ得ス故ニ本文舊
 開拓使支廳所在地ノ經緯度ヲ掲ケテ參考ニ供ス
 以上記載スルノ外港灣島嶼等ノ部ニ掲クルヲ以テ此ニ省
 略ニ從フ

○第七款 氣候

氣候ハ全道各地多少ノ差異アリト雖精細ノ調査ヲ得ス且
 繁雜ノ恐レアルヲ以テ函館札幌留萌根室四所ノ寒暖雨雪
 ノ概略ヲ表示スルヲ左ノ如シ

第一 氣象略表ノ一

寒暖計ハ華氏ノ度ヲ用フ◎印ハ
 氷點以下ノ度ヲ用フ◎印ハ

氣候

年地名	平均			最高			最低			平均				
	度	分	秒	度	分	秒	度	分	秒		度			
明治二十年	函館	四八	三	八四	〇	八	八	月七日	一〇	〇	一	月十一日	八三	
	札幌	四五	一	九〇	二	八	五	月五日	〇	六	〇	一	月廿四日	七八
	留萌	四四	〇	八六	〇	八	月十四日	一	五	三	月八日	八〇	八〇	
全三十年	函館	四七	九	八六	五	八	月八日	四	〇	〇	二	月一日	八〇	
	札幌	四五	五	九三	二	八	月四日	〇	二	二	五	十二月廿四日	七八	
	留萌	四五	〇	九三	〇	八	月九日	〇	八	五	二	月五日	七八	
全四十年	根室	四三	六	八四	〇	七	月三十一日	零	度	二	月廿五日	八五	八五	
	札幌	四四	八	八八	〇	七	月廿四日	〇	六	九	一	月十三日	七九	
	函館	四七	一七	八七	〇	八	月廿九日	五	〇	〇	一	月十二日	八一	
	根室	四二	九	八〇	〇	八	月廿二日	一	五	三	月八日	八七	八七	

全五十年		全六十年	
函館	四七六六	函館	四六三六
札幌	四五一九	札幌	四四二六
八五〇八月一日	八五〇八月一日	八七〇八月十三日	八七〇八月十三日
三、五十二月廿日	三、五十二月廿日	〇、五一月十五日	〇、五一月十五日
七九	八一	八一	八一

本表函館札幌ノ外ハ年々ノ調ヲ得ス他日補フヘシ観測ハ各所トモ一日三回ノ観測平均根室ハ一回ナリ濕氣ハ時々ノ温度ニ適スル充分ノ水氣ヲ含メル空氣ノ最モ濕リタル時ヲ百ト定メ其割ヲ示スモノトス

天氣日數凡左ノ如シ但候所ノ調査ニ依リ計其年及所ノ各ノ調査ノ難キモノ

第二 氣象略表ノ二 米印ハ雨雪ノ日數區別シ難キモノ

年地名	雨	雪	雹	雷雨	晴	曇	強風
明治二十年	〇	〇	〇	一	一	〇	四
函館	一	四	二	一	一	〇	七

十全	年五十全	年四十全	年三十全	年二十全
函館	札幌	函館	根室	留萌
九五	一四九	一三四	二五	一〇一
八二	一〇三	六六	一一	七一
〇	三	〇	不詳	七
七一	一三	六	六	二
一〇	二三	二三	不詳	二二
二五	五六	五一	二一八	八一
三一	六八	一三	不詳	七七
				八〇
				九〇
				八三
				九四
				一三
				一七
				一四
				一七一
				八三
				六
				二二
				一三
				一〇〇
				一四五
				九四

三十

年六 札幌 九〇 一一二 〇 一六一 一八二 四七 二二三

本表ハ時間ノ長短ニ拘ラズ夜半ヲ界トシテ算ス晴曇ハ毎日雲ノ平均(雲ノ割合ヲ示ハ晴天ヲ表トシ曇ヲ略ス)ヲ算ス而シテ天氣ノ模様ニ由リ日ニ重複アリ假令ハハ雨雪雹ヲ雜ヘ及ヒ雷雨強風アリ終日曇天ナレハ一日ニシテ六行ニ登記スルカ如シ觀測時間ハ前表ニ同シ十二年及十五年十六年根室ノ測ヲ得サルヲ以テ此ニ載セス

第三 測候所

函館測候所ハ同區高砂町ニ在リ十五年七月以降全國同時ノ觀測時ニ依リ午前六時二十分午後二時二十分同十時二十分ノ三回ニ觀測ス外ニ從來開拓使施行ノ觀測時ヲ存シ參考施行スルモノ午前七時午後二時同九時ノ三回アリ本

測候所 地籍

三十一

所ノ設置ハ明治五年七月ニ在リ同十一年開拓使備數學兼
土木博士ウヰリルム、ホキヲ一氏ノ監査ニ依リ地位ヲ現今
ノ地ニ定ム

追補
参考

○現今同所ニ備フル器械ハ晴雨計寒暖計雨量計風力計驗
震器時辰器信號旗(烈風暴雨等ノ徵者アルト)報午旗(正午ヲ
知ラシメ
便ニス)等ナリ

札幌縣下ハ札幌北四條西三丁目及増毛ノ兩所根室縣下ハ
根室ニ一所測候所アリ函館ト大同小異ナリ

○第八款 地籍

地籍調ハ刊行ノ諸表等ヲ參考スルニ凡左ノ如シ但根室縣
ノ分田畑海産干場ノ外同時ノ調ヲ得ヌ暫ク十五年調耕宅
地海産干場ヲ掲テ之ヲ補フ

○函館縣

十六年一月一日調

(數坪以下略ス)

官用地

七百四十貳万五千七百
九十八坪外ニ崖地略ス 社 地 三万四千七百二十八
坪

田

四反八畝二十六步 畑 六十町一反九步

宅地

九万四千六百七十七坪 外國人居留地 壹万四千六百八十二
坪

樹藝園

千三百九十三町五反二
十九步余 公 園 貳万三百九十六坪

官有地

林

十三万五千五百五十八坪 學校敷地 七千五百坪

病院敷地

七千四百八十七坪 寺院敷地 四万七千七百四十三坪

墓

貳万三千五百六十七坪 川岸地 壹万七千八百二十坪

海産干場

貳万九千八百四十一坪 牧場 九千三百七十四町八
反四畝十五步

雜地

三万七千七百六十一坪

本文社地ノ内ニ招魂社官用地ノ内ニ陸軍省用地五
後郭及深樹藝園ノ内ニ部分木植付地學校ノ内女紅
場寺院ノ内堂宇川岸ノ内川堤防地ヲ合算ス雜地ハ
農業博覽會敷地、荷揚場、小塚、目標敷地、魚季化場、井戸

地等ノ數種ヲ合併セルモノナリ

民有地

田 千百三十八町四反二畝
 畑 四步外畦畔略ス
 社 地 五千七百六十七反三畝
 寺院敷地 三萬九千五百七十貳坪
 沼池敷地 貳反八畝十二步
 墓 地 十七萬七千四百二十三坪
 宅 地 三百五十一万八千四百八十坪外崖地略ス
 海産干場 六十一万二千八百六十坪
 荒地 貳百七十八町八畝十八步
 開墾地 九千六百八十町三反九畝十六步
 道路敷地 三百七坪

○札幌縣

本文社地ハ中級院敷地寺院地ハ堂宇敷地荒地ハ田畑宅地海産干場沼池ハ井戸墓地ハ火葬場ヲ混ス
 十六年一月一日調

官有地

官用地 百六萬三百拾四坪
 官林地 五億六千八百十四萬二千九百六十貳坪
 社 地 七萬二千三百二十六坪
 牧場地 二千五百二十九萬九千九百二十九坪
 學校地 四萬二千三百九十坪
 寺 地 九千三十四坪

（墓）地 十二万四千六百三十二坪

揭示場 百二十三坪

民有地

田 四町四反七畝十九步
 郡村宅地 四十七万七千四百四十五坪
 海産干場 百六十万八千三百八十坪
 畑 二千六百六十五町三反四畝十二步
 市街宅地 十五万八千三百三十三坪
 製氷場 七反二畝二步

○根室縣

十五年調

民有地

畑 收稅 七町一反一畝十四步
 宅地 收稅 五万二千八百七坪七合一夕
 海産干場 收稅 八十万八千五百七十七坪
 畑 除稅 二十九町八反五畝十八步
 宅地 除稅 三十五万八千二十六坪七夕
 海産干場 除稅 八十七万二千九百四十五坪五合

以上概略ヲ掲クルノミ函館縣ノ如キ反別官林ノ調査函館區ニ止リ他ハ未タ之ヲ詳悉スルニ及ハス故ニ本文函館區ノミヲ記載セリ

○第九款

開墾反別

開墾反別

開墾反別ハ該年開拓ノ景況ヲ見ルニ於テ必用ノ事項トス
然レ田今詳細ノ調査ヲ得サルヲ以テ概況ヲ左ニ掲ケテ參
考ニ供ス

統計年鑑ニ載スル明治十二年調開拓使設置以來ノ開拓地
ハ左ノ如シ

	札幌管内	函館管内	根室管内	合計
田	壹町一反七畝	四百五十四町三反二畝	、、、、、	四百五十五町四反九畝
畑	四千八百八町六反三畝	三千九十九町一反五畝	五十七町六反八畝	七千二百六十五町四反六畝
宅地	三百六十一町二反三畝	四百九十一町八反	六十七町七反四畝	九百二十町七反七畝
牧地	七千二百八十八町八反二畝	九千七百四十六町七畝	、、、、、	壹万七千三十四町八反九畝
海産干場	七百一十一町八反八畝	十四町八反四畝	五百四十七町八反四畝	千二百七十四町三反六畝
田畑宅地ノ區別未詳	、、、、、	三千四百六十七町四反八畝	、、、、、	三千四百六十七町四反八畝

總計 壹萬二千四百七十一町七反三畝
又十三年ヨリ十五年ニ至ル函館札幌兩縣下ノ田畑開墾反別ハ概略左ノ如シト云フ但根室縣ノ分詳ナラス故ニ十四年開墾反別ヲ掲ケテ參考ニ供ス

○函館縣下

	十三年	十四年	十五年	合計
田	六十二町八反三畝七步	八十五町五反二畝二十六步	九十四町一反九畝十五步	二百四十二町五反五畝十八步
畑	二百九町一反四畝三步	九百九十三町七反八畝二十三步	四百八反五畝十三步	千六百三十七反八畝十五步
合計	二百七十一町九反七畝十步	一千七十九町三反一畝二十五步	四百九十五町四畝二十八步	千八百四十六町三反四畝三步

右田地ハ渡嶋國龜田上磯檜山爾志ノ四郡ハ連年開墾アリ
内爾志郡ハ極メテ少シ膽振國山越郡及渡島國茅部郡ニ十三年及十五年後志國壽都郡ハ十四十五年ニ在リ其他ハ

皆畑地ナリ

○札幌縣下

	十三年	十四年	十五年	合計
田	五町六反一畝	十二町四反八畝	十九町五反三畝	三十七町六反二畝
畑	四千七百五十四	五千百三十三町四	六千七百七町九畝	一萬五千九百七十七
合計	四千七百五十九町	五千二百四十五町	六千三百二十六町	一萬六千九百七十七
右田地ハ石狩國札幌郡膽振國虻田郡有珠郡ハ連年開墾アリ	六反一畝十八步	五反三畝四步	六反三畝三歩	一萬六千九百七十七
リ其他ハ十四年石狩國石狩郡日高國浦河郡ニアリ十五年				
ハ後志國岩内郡及日高國浦河郡ニアルノ畑地ノ開墾ハ				
札幌郡有珠郡等ヲ第一トシ之ニ次キ石狩郡小樽郡余市郡				
岩内郡日高國沙流静内二郡等ナリ				
○根室縣下				
明治十四年分				

田畑	官有	民有	合計
田	十八町四反八畝十六歩	四百二十六町五反一畝八歩	四百四十四町九反九畝廿四歩
畑			

右官有ハ根室郡ニ止リ民有ハ同郡ヲ重トシ其他ハ僅々ナリ

○第十款 山嶽ノ景况

名山巨嶽記載スヘキモノ固ヨリ多シ今其著名ナルモノヲ掲クレハ左ノ如シ

渡嶋國

三津嶽 五村ニ郡 赤川、石川、七飯、大中山、軍川、三森嶽、同川、湯
 東千五在ニ高 尺 ○函館山 高千館百ノ西南七二尺アリ ○恵山 噴田火
 根南内ニ北西 高千法九花百村ニ尺 ○古部嶽 節茅ノ部北ニ尾ア札部 田古
 ノ南内ニ北西 高千法九花百村ニ尺 ○古部嶽 節茅ノ部北ニ尾ア札部 田古
 高郡二千法二華十村ニ尺 〇熊泊嶽 高同三熊二泊百村ニノ十四尺ニアリ 〇駒

山嶽

山同郡 ○ 札幌嶽 同札幌郡 ○ 發寒山 同同郡 ○ 手稻山 同九郡 ○ 五高十二尺千
 ○ 幌武井山 未測郡 ○ 武稻山 同札幌郡 及千膳四娘百ノ五蛇十田尺部 = ○ 稻穂* 同同郡
 登ノ山 同同郡 ○ 夕張嶽 同夕張郡 ○ 浦志内嶽 同樺上戸郡 ○ 當別山 郡石同狩
 上 ○ 志別山 同同郡 ○ 阿曾岩山 同千郡 八郡 百高 尺二 ○ 斜芳嶽 同厚上田郡 ○ 郡同狩
 畫山 未測郡 ○ 茶羅志内山 同百七郡 十高 尺千 五 ○ 達磨嶽 未測郡 ○ 幌群別
 岳 同濱上登郡 ○ 黄金山 同同郡 等ナリ

天鹽國

羽幌山 六苦千前百郡 二ニ ア 尺リ 高 ○ 増毛山 一増千毛二郡 百ニ 五ア 十リ 尺高 ○ 暑寒別
 山 同二郡 百高 尺七 ○ 雄冬山 同百九高 十三 尺千 ○ 幌庶登山 同三郡 十高 尺千 七 ○
 庶參別山 百同 五郡 十高 尺凡 五 ○ 古且別山 未苦測前郡 ○ 圓山 同六郡 百ニ 三ア 十リ
 尺 ○ 勢尻嶽 未測郡 高 ○ 幌尻山 苦天前鹽郡 同名アノリ 山高ア六リ千 高百ニ 三ア 十リ
 ○ 辨花片山 高天七鹽千郡 二ニ 百履尺ス ○ 晩花片山 同百郡 八高 十六 尺千 ○ 辨花内

山 同三郡 十高 尺千 六 等ナリ

日高國

沙流岳 未測流郡 ○ 笑似山 未同測郡 ○ 利通山上同 ○ 逃入山上同 ○ 急參
 嶽 同新冠郡 ○ 榮根嶽 同靜内郡 ○ 保奴加良山 千浦四郡 百高 尺五 ○ 猿留
 山 同泉郡 二郡 十高 尺二 千 ○ 安保似山 千似四郡 十高 尺五 ○ 樣似山 未同測郡 等ナリ

十勝國

樂古山 同廣尾郡 二高 尺千 六 在ナリ ○ 廣尾山 凡同三郡 千ニ 六在 百リ 尺高 ○ 音
 調津山 同二郡 百ニ 六在 十リ 尺高 凡 ○ 鏡多貫山 同四郡 百ニ 四在 十リ 尺高 凡 ○ 類藥
 山 同凡千郡 二在 十リ 尺高 ○ 浦幌山 凡十勝千郡 二在 十リ 尺高 凡 ○ 當在緣リ郡
 尺 百高 凡千 ○ 十勝嶽 凡上二川千郡 百ア 十リ 尺高 ○ 佐幌嶽 同千郡 八高 尺千 二在 百高 凡 十
 ○ 猿淵山 凡中千川郡 八ニ 十在 尺リ 高 ○ 神威嶽 凡河五西千郡 四ニ 百在 尺リ 高 ○ 薩

内嶽未測西郡 ○美波色山凡同三郡千六在百尺高 ○安取山高同凡郡三千在六尺百 ○葦中山同千郡二百四十高凡尺 ○雪城山三河千東二郡百二十四尺高凡等

釧路國

雄阿寒嶽ル阿寒川上ヨリニ郡ニ余跨 ○雌阿寒嶽嶽同ノ郡西ニ屬アスリ雄山阿寒里ヨリ三 ○西別岳ス川上高未郡測ニ屬等ナリ

根室國

ラウス山凡目五梨千郡四百ア尺高 ○標別山ア標リ別未郡測ニ等ナリ

北見國

斜里嶽凡斜里千郡四百ア尺高 ○爺々嶽未測郡 ○羽奈別嶽万同郡千高九一十百尺六 ○有來牛嶽リ同郡里余下 ○千登壁牛嶽未測別郡 ○硫黃山千斜 ○里四郡十高尺五 ○利尻山未利尻郡 ○宗谷嶽在宗谷未郡測ニ ○累崗山郡同

凡ニ在五尺高等ナリ

千嶋國

爺嶽ア國後未郡測ニ ○邊入菫山同擇捉郡上 ○鷄冠山別擇捉郡ニ跨ルア山リ下ニヨリ余三十 ○單冠嶽ヨリ別凡郡三ニアリ山下 ○散粒嶽ヨリ那凡郡三山下丁三 ○模與呂嶽取郡十八丁余 ○辰牛嶽一國後郡八百尺凡 ○ラウス嶽千同郡二高凡尺三 ○多布斗豆山未得測郡 ○於加伊豆山同 ○和惠鳴志山上同 ○鐘山上同

此他千嶋群嶋無名ノ山ニシテ著名ノモノヲ掲クレハ左ノ如シ

無名山

占守郡第一島ニ在リ噴火山ナリ

同上

同郡第二島「アライト」ニアリ

同上

山同郡為第三島「ホロモ」ニ外ア噴火山峯數合多セアテ

河川

同上

同郡第五島「ラ」チコタンニアリ島上四峯ヲ現
一八郡其南西ニ在リ相距離ニ二里アリ一ハ噴火山

○第十壹款 河川ノ景況

大川ノ數亦少シトセス今其著名ナルモノヲ掲クレハ左ノ
如シ但川幅二十間ニ滿タサルモノハ概テ省略ニ從フ

渡嶋國

有川	久根	戸切	柳川	茂邊	
水函館港ニ郡入市ノ長凡村ニ一發里シ南流十上間磯郡六尺アリニ	別川有南流ノ支川ニ磯郡上テ磯田ニ郡至時下村有川ニ佐合澤スヨ長リ三發	地川至源リヲ海上ニ磯入郡上長磯村一字里石餘道ニヨリ五發間シ同三村尺前濱ニ	源至リ前海同ニ郡入カニラ長ス山ヨ餘リ細發三シ同間郡深谷三好尺富川兩村ノ界	地川海水ニ源入上ル磯長郡凡茂八登里地瀨村三西十股間ノ深澤三ニ尺發アリ東南流シテ	

木古内川南又流大シ川上ト磯郡ス木古源内上村磯ニ郡至テ海内ニ稻入穂ル長凡發六シ里東

知内川源ヲ海ヲニ松入前ル郡長千九軒八岳ニ測發三シ東間流深シ五上尺磯郡知内村ニ至

天ノ川海源ニヲ入拾ル山長郡凡勝七柳里山測ニ五發十シ八西間流深同九郡尺上又ノ國ノ村國ニ川至トテ

厚澤部川至源リヲ海上ニ磯入郡上長凡地十山四ニ里發細シ六西流間槍深山ニ郡尺柳乃崎至村六ニ

野田川ニ源入チ長山凡郡十山中ニ測發四シ北間流深茅尺郡落部村ニ至リ海

龜田川源ヲ川瓦龜ニ田至郡赤海川ニ村入ノ赤長沼四ヨ里測發九シ西深南一流尺龜田村

願乘寺川町尻ニ田至川海派ニ川入ニ長テ一龜里田測發五ヨ間深分三流尺函館東濱

龜川中源濱ヲニ上至磯リ郡海泉ニ澤入村ル字長槍ニ木里澤餘瀨五發間深南二流尺シ泉澤村字

利別川	後志川	登別川	鷺別川	幌別川	鶴川	千歳川	勇拂川
里網百間深一丈五尺乃至二丈	五尺別川	三源十ナ	二源十ナ	ク源長ヲ	凡ヲ二勇	札石幌郡江別村ニ至テテ石狩川ニ支入ル湖ニ出テ石間長狩深園	勇源拂ニ千至郡海界ニ入發ルシ長各凡所里網凡ヲ三合十間深流五尺拂郡
合源シテ西齋流郡瀬松郡内潮郡ニ勝至國海山ニ越入郡長凡部三ナ	川ト稱ス長凡三十四里洞百十三間乃至百間深一丈	間幌深別二尺登別山ニ發シ登別村ニ至リ海ニ入ル洞	間幌深別三尺登別山ニ發シ登別村ニ至リ海ニ入ル洞	不幌詳別洞凡山中十ヨ深發四尺郡幌別村ニ至リ海ニ入ル洞	凡ヲ二勇里郡洞凡中四ニ十發五シ間西南未流鶴川村ニ至テ海ニ注ク	未測	

白老川	敷生川	長流川	長萬部川	遊樂部川	及部川	關内川	見市川	姫川
ル源長ヲ凡十里洞ニ老十ニ間深未測	入源ルヲ長凡八里洞三ニ十發間深南不詳郡敷生村ニ至リ海ニ	シ一ニ郡小長沙流流紋川別ト兩云村フ間源ニヲ至有リ珠海郡ニ山中ルニ長發九シ西六南里流	洞十間深四尺或ハ洞四十間戲ハ三百四十四尺ト云フ	洞十間深四尺或ハ洞四十間戲ハ三百四十四尺ト云フ	洞十間深四尺或ハ洞四十間戲ハ三百四十四尺ト云フ	洞十間深四尺或ハ洞四十間戲ハ三百四十四尺ト云フ	洞十間深四尺或ハ洞四十間戲ハ三百四十四尺ト云フ	洞十間深四尺或ハ洞四十間戲ハ三百四十四尺ト云フ
膽振國								

太[?]橋[?]別[?]川[?]源[?]至[?]テ[?]爾[?]海[?]志[?]郡[?]入[?]龍[?]石[?]長[?]村[?]八[?]關[?]里[?]内[?]餘[?]山[?]瀨[?]ヨ[?]四[?]リ[?]十[?]發[?]五[?]シ[?]間[?]大[?]乃[?]橋[?]至[?]郡[?]五[?]大[?]十[?]橋[?]間[?]村[?]

朱[?]太[?]川[?]源[?]合[?]テ[?]膽[?]同[?]郡[?]國[?]樹[?]蛇[?]岸[?]田[?]村[?]郡[?]禮[?]至[?]文[?]海[?]山[?]ニ[?]ヨ[?]入[?]リ[?]發[?]長[?]レ[?]凡[?]十[?]流[?]ハ[?]シ[?]里[?]壽[?]瀨[?]都[?]三[?]川[?]

泊[?]川[?]源[?]海[?]ヲ[?]島[?]入[?]牧[?]八[?]郡[?]長[?]大[?]十[?]平[?]山[?]七[?]里[?]ニ[?]瀨[?]發[?]四[?]シ[?]西[?]間[?]北[?]深[?]ニ[?]三[?]流[?]尺[?]レ[?]同[?]郡[?]永[?]豐[?]村[?]ニ[?]至[?]

千[?]走[?]川[?]源[?]テ[?]ヲ[?]島[?]ニ[?]牧[?]八[?]郡[?]長[?]大[?]十[?]平[?]山[?]七[?]里[?]ニ[?]瀨[?]發[?]四[?]シ[?]西[?]間[?]北[?]深[?]ニ[?]三[?]流[?]尺[?]レ[?]同[?]郡[?]永[?]豐[?]村[?]ニ[?]至[?]

須[?]築[?]川[?]源[?]十[?]水[?]同[?]里[?]同[?]瀨[?]上[?]二[?]西[?]間[?]深[?]原[?]三[?]歌[?]尺[?]村[?]字[?]須[?]築[?]ニ[?]至[?]テ[?]海[?]ニ[?]入[?]ル[?]長[?]凡[?]

幌[?]別[?]川[?]源[?]至[?]源[?]リ[?]チ[?]海[?]歌[?]ニ[?]乘[?]入[?]郡[?]熱[?]長[?]邪[?]三[?]山[?]ヨ[?]瀨[?]リ[?]十[?]發[?]三[?]シ[?]間[?]磯[?]深[?]谷[?]未[?]郡[?]瀨[?]村[?]字[?]幌[?]別[?]ニ[?]

存[?]在[?]川[?]源[?]海[?]源[?]ニ[?]チ[?]入[?]同[?]郡[?]長[?]幼[?]十[?]羽[?]五[?]岳[?]里[?]ニ[?]瀨[?]發[?]四[?]流[?]間[?]深[?]瀨[?]五[?]柵[?]尺[?]郡[?]瀨[?]村[?]ニ[?]至[?]テ[?]

大[?]平[?]川[?]源[?]テ[?]ヲ[?]海[?]島[?]ニ[?]牧[?]入[?]郡[?]本[?]長[?]目[?]四[?]村[?]里[?]大[?]半[?]平[?]瀨[?]山[?]ニ[?]中[?]十[?]ヨ[?]間[?]深[?]發[?]五[?]シ[?]尺[?]西[?]流[?]輕[?]白[?]村[?]ニ[?]

古[?]平[?]川[?]源[?]至[?]源[?]リ[?]岩[?]海[?]内[?]二[?]郡[?]入[?]界[?]ル[?]園[?]長[?]分[?]凡[?]山[?]七[?]ニ[?]瀨[?]レ[?]三[?]北[?]十[?]流[?]間[?]深[?]テ[?]未[?]古[?]郡[?]濱[?]中[?]村[?]ニ[?]

余[?]市[?]川[?]源[?]注[?]ヲ[?]除[?]長[?]市[?]九[?]岳[?]十[?]ニ[?]發[?]三[?]里[?]シ[?]瀨[?]北[?]三[?]流[?]十[?]シ[?]間[?]餘[?]深[?]市[?]未[?]郡[?]瀨[?]川[?]村[?]ニ[?]至[?]リ[?]海[?]ニ[?]入[?]ル[?]

堀[?]株[?]川[?]源[?]長[?]源[?]凡[?]ヲ[?]十[?]積[?]里[?]丹[?]瀨[?]郡[?]凡[?]山[?]十[?]中[?]八[?]ニ[?]間[?]發[?]深[?]シ[?]未[?]北[?]瀨[?]流[?]積[?]丹[?]村[?]ニ[?]至[?]リ[?]海[?]ニ[?]入[?]ル[?]

石[?]狩[?]川[?]源[?]狩[?]郡[?]ヲ[?]石[?]上[?]狩[?]川[?]ニ[?]郡[?]至[?]石[?]狩[?]海[?]岳[?]ニ[?]入[?]發[?]ル[?]長[?]屈[?]凡[?]曲[?]百[?]六[?]南[?]十[?]流[?]七[?]諸[?]里[?]水[?]瀨[?]ヲ[?]合[?]丁[?]セ[?]乃[?]石[?]

豐[?]平[?]川[?]源[?]三[?]十[?]間[?]長[?]深[?]未[?]詳[?]幌[?]區[?]對[?]雁[?]上[?]村[?]流[?]ニ[?]至[?]リ[?]石[?]狩[?]川[?]ト[?]稱[?]入[?]ス[?]ル[?]源[?]瀨[?]ヲ[?]凡[?]札[?]

空[?]知[?]川[?]源[?]至[?]同[?]テ[?]上[?]狩[?]支[?]川[?]ニ[?]ナ[?]入[?]リ[?]源[?]瀨[?]ヲ[?]長[?]空[?]共[?]知[?]郡[?]未[?]山[?]詳[?]中[?]ニ[?]發[?]シ[?]同[?]郡[?]空[?]知[?]ニ[?]

夕[?]張[?]川[?]源[?]至[?]千[?]歲[?]リ[?]上[?]狩[?]支[?]川[?]ニ[?]ナ[?]入[?]リ[?]源[?]瀨[?]ヲ[?]長[?]空[?]共[?]知[?]郡[?]未[?]山[?]詳[?]中[?]ニ[?]發[?]シ[?]同[?]郡[?]空[?]知[?]ニ[?]

雨[?]龍[?]川[?]源[?]至[?]千[?]歲[?]リ[?]上[?]狩[?]支[?]川[?]ニ[?]ナ[?]入[?]リ[?]源[?]瀨[?]ヲ[?]長[?]空[?]共[?]知[?]郡[?]未[?]山[?]詳[?]中[?]ニ[?]發[?]シ[?]同[?]郡[?]空[?]知[?]ニ[?]

天鹽川	源ヲ上テ川	鹽郡	天鹽岳	ニ至	リシ	海西	北流	ル諸	長七	十合	餘七	里中	川	九郡																										
三町深	八尺全	道中	石狩川	ニ至	ク	ノ大	河ナ	リ																																
暑寒別川	入源	ル増	凡毛	四郡	百	五	十	六	尺ニ	深	尺	岩	別	村ニ	至	リ	海	ニ																						
留萌川	至源	リテ	海留	ニ萌	入郡	ル幌	長	十	山	四	ニ	餘	シ	西	十	諸	四	水	間	ヲ	深	合	未	測	留	前	郡	ニ												
古丹別川	古源	丹	別	ニ狩	至	國	リ	雨	海	龍	ニ	郡	入	山	ル	中	湖	ニ	凡	發	四	西	間	流	長	天	鹽	未	國	測	苦	前	郡	ニ						
沙流川	源	合	テ	沙	同	流	郡	山	中	大	ニ	村	發	ニ	至	西	リ	南	海	流	ニ	新	入	冠	ル	郡	長	ヨ	凡	リ	十	來	五	里	諸	餘	川			
厚別川	源	別	テ	新	至	冠	リ	郡	海	ノ	ニ	入	高	ル	山	長	ニ	凡	發	十	西	里	南	湖	流	凡	沙	三	流	十	新	間	冠	深	兩	郡	四	部	尺	境
新冠川	至源	リ	テ	海	十	勝	入	國	ル	境	長	ノ	凡	諸	ニ	山	長	ニ	六	發	里	シ	南	湖	西	三	南	十	流	間	新	冠	凡	郡	四	高	尺	江	村	ニ
新退川	水源	ヲ	テ	合	靜	内	セ	同	郡	山	染	中	退	ニ	村	發	ニ	至	西	リ	南	海	流	ニ	東	入	枝	ル	川	長	西	凡	枝	十	川	五	等	里	ノ	諸

三石川	源	海	ニ	三	入	石	郡	長	山	凡	中	一	發	里	シ	西	十	南	丁	流	余	諸	湖	水	凡	ヲ	合	一	丁	七	深	三	凡	石	ニ	尺	至				
元浦川	源	至	テ	浦	海	河	ニ	郡	入	東	ル	ホ	長	又	凡	カ	七	ラ	里	山	十	八	發	丁	シ	湖	西	三	南	十	流	間	同	凡	元	ニ	浦	尺	河		
幌別川	源	海	源	ニ	ワ	入	様	似	ル	似	湖	郡	凡	山	三	中	五	發	間	シ	長	西	深	未	湖	同	郡	幌	萬	別	ニ	至	凡	元	ニ	浦	尺	河			
布仕川	源	凡	テ	靜	ニ	内	十	五	三	間	石	長	二	深	郡	未	山	測	中	ニ	發	シ	兩	郡	境	ヨ	リ	海	ニ	入	ル	凡	元	ニ	浦	尺	河				
猿留川	源	二	源	尺	未	詳	幌	泉	郡	長	二	深	郡	未	山	測	中	ニ	發	シ	長	西	深	未	湖	同	郡	幌	萬	別	ニ	至	凡	元	ニ	浦	尺	河			
雁別川	源	凡	幌	六	泉	十	郡	間	猿	深	雷	一	山	尺	ニ	發	シ	同	郡	近	呼	村	ニ	至	リ	海	ニ	入	ル	凡	元	ニ	浦	尺	河						
向別川	源	一	源	尺	未	詳	浦	河	郡	向	別	村	ニ	至	リ	海	ニ	入	ル	凡	元	ニ	浦	尺	河																
十勝川	源	長	チ	上	十	川	余	郡	里	十	湖	勝	凡	岳	八	ニ	十	發	間	シ	深	十	六	尺	郡	天	十	鹽	勝	川	ニ	至	亞	リ	海	大	ニ	河	入		
雁舟川	源	同	郡	歴	ハ	ヒ	カ	ニ	タ	至	川	テ	ト	海	云	ニ	フ	入	源	ル	フ	長	當	十	緑	里	郡	湖	歴	八	舟	十	山	間	ニ	深	發	ニ	尺	南	流

大津内川	間或ハ云フ百五十間深凡三尺	至勝川海口ヨリ上凡二丁里ノ六處
利別川	勝同郡上ニ支リ川十勝川源入ヲ勝川路十國ノ深凡六尺十	
豐居川	至テ廣尾ニ郡入神ル威長山四脈里豐八山丁ニ同郡音調津ニ至リ海	
音調津川	入テ廣尾凡郡六音調津深山凡五寸同郡音調津ニ至リ海	
樂古川	十源間ヲ深同凡郡二樂古山ニ發シ樂古三至リ海ニ入ル調凡八	
廣尾川	深發未詳廣尾郡茂寄村ニ至リ海ニ入ル調凡三十間	
當綠川	三源十ヲ當綠凡郡三當綠山ニ發シ當綠ニ至リ海ニ入ル調凡	
猛別川	源調ヲ凡豐五居十歷間舟深二凡山ニ尺發シ廣尾郡猛別ニ至リ海ニ入	
釧路川	七源釧ヲ路釧ニ路至郡リ釧海路ニ岳入ニ尺發シ長ソ三南七流阿調四十六間川深ワ七合	

庶路川	源調ヲ二白十郡間某深山ニ尺發シ東南流白糠村ニ至リ海ニ入
口川	源入ヲ阿寒三白十郡間深ノ二境尺ニ發シ東南流白糠村ニ至リ海
橋來川	源調ヲ二白十郡間深ノ二境尺ニ發シ同郡尺別村ニ至リ海ニ入
割手別川	源發深源四不詳尺詳白糠郡割手別ニ至リ海ニ入ル調二十五
音別川	源二源十ヲ五白間糠深山三中尺ニ發シ同郡尺別村ニ至リ海ニ入
直別川	源注ヲク白調糠四郡十直六別間山深ニ七發尺シ白糠十勝二郡ノ界ヨリ海
西別川	源ノ界ヲ釧路經國ニ上川郡西別三嶽十二里發調シ六東間根室凡十野尺付郡
標津川	源長ヲ凡標十津六郡里標調津三嶽十二間發深シ壹東丈流二標尺津村ニ至リ海ニ入
北見國	凡斜里郡調斜六里十岳四ニ間發深シ北尺發別郡發別ニ至リ海ニ入
紋別川	源長ヲ凡天九盤里ノ界ニ發深シ北尺發別郡發別ニ至リ海ニ入
斜里川	源長ヲ凡斜里郡調斜六里十岳四ニ間發深シ北尺發別郡發別ニ至リ海ニ入

留別川	網走川	興都川	猿拂川	幌内川	瑠椽川	渚骨川	湧別川	富別川	聲問川	常呂川
源ニ擇入ル海ニ至	源ニ網走間深六尺ニ發シ同郡綱走村ニ至リ海ニ入	源ニ網走間深六尺ニ發シ同郡興都村ニ至リ海ニ入	源ニ未詳宗谷郡猿拂村ニ至リ海ニ入	源ニ未詳宗谷郡猿拂村ニ至リ海ニ入	源ニ未詳宗谷郡猿拂村ニ至リ海ニ入	源ニ未詳宗谷郡猿拂村ニ至リ海ニ入	源ニ未詳宗谷郡猿拂村ニ至リ海ニ入	源ニ未詳宗谷郡猿拂村ニ至リ海ニ入	源ニ未詳宗谷郡猿拂村ニ至リ海ニ入	源ニ未詳宗谷郡猿拂村ニ至リ海ニ入

○第十二款 島嶼ノ景况

藥取川	別飛川	紗那川	内保川
源ニ入ル葦取郡里模與十沼ニ發シ西北流葦取村ニ至リ海	源ニ入ル葦取郡里模與十沼ニ發シ西北流葦取村ニ至リ海	源ニ入ル葦取郡里模與十沼ニ發シ西北流葦取村ニ至リ海	源ニ入ル葦取郡里模與十沼ニ發シ西北流葦取村ニ至リ海

島嶼ハ千嶋根室ノ二國ニ屬スルモノ多ク其他ハ二三ニ過キス而シテ嶋ノ大ナルモノハ古來島中數部落ヲ爲シ維新ノ初全道國郡ヲ區畫スルニ方テ皆郡ト爲セリ即擇捉、國後、利尻、禮文、興尻、ノ如キ是ナリ樺太、千嶋、交換ヨリ我版圖ニ入リタル得撫其他悉ク島嶼ナラサルナシ此各島ハ郡區町村部其他各項ニ記載スト雖モ此ニ概況ヲ記スル左ノ如シ

○擇捉島

本島ハ千嶋國ニ屬ス島嶼中ノ大ナルモノニシテ西南ハ國後ニ對シ東北ハ得撫ニ隣ル周廻凡二百八十里(地誌提要周廻面積四百六十)東南ニ長ク東西ニ短シ之ヲ大別スレハ西岸ハ居民部落ヲ爲シ東岸ハ絕壁路ヲ絶シ舟ヲ近ク可ラヌ島中別テ四郡(擇提振別紗那藥取)トナシ十六年一月戶數百二十一人口九百五十七アリ海產ハ有名ノ鱒及紅鱒ヲ產出シ又臘虎ハ此島ノ沿海ヲ捕獲ノ地トセリ樹木ハ五鬣松ニ富ミ其他雜木叢生ス島中高山六アリ寒氣酷烈四月氷解舟ヲ通ス五月ニ至テ風浪漸平ニ氷塊泛流スト寛政十二年近藤重藏山田鯉兵衛始テ之ヲ開キ會所ヲ立シ所ナリ

○國後嶋

擇捉ニ亞ク大嶋ナリ周廻凡百六十里(地誌提要周廻面積四百四十)

リ)東南西北ニ短ク東微北西微南ニ長シ東西兩濱共ニ聚落アリ十六年一月戶數六十七人口二百二十三物產ハ鱒、鮭、昆布、扇貝煎海鼠椎茸魚油等アリ高山四湖大小九アリ此嶋往昔山火縱餘シ爲メニ竹木悉ク燒失スト故ニ甚々新炭ニ乏シ十一月ヨリ翌年三四月マテ結氷渡航頗ル難シト云フ

○醜丹嶋或ハ志古丹

(追補)根室國花咲郡ニ屬ス水昌嶋ノ東北凡十四里ニアリ根室港ヲ隔ル凡二十五里(或ハ三)周廻四十九里(地誌提要周廻面積二十五方)水路誌ニ依ルニ嶋中大小二十四灣アリ志古丹ヲ除クノ外空原荒野庶草繁茂スト然レモ昆布叢生シ夏秋ハ根室厚岸ノ人民多ク此嶋ニ徙リ昆布ヲ採ル夏時ハ瘴霧深ク冬時ハ堅氷凝結シテ海陸路ヲ兼ヌト云フ又聞ク往昔土

人數百人居住シ番屋五所アリ連年不漁花咲ニ移リ又多ク死亡スト云フ

○水昌嶋

前同郡ニ屬ス納紗布岬ノ東微北凡二里ニアリ周廻十里昆布ノ產地ニシテ土人此島ニ來リ採收スルモノ多シト云フ
○志發島○多樂島

二嶋花咲郡ニ屬ス志發ハ周廻十二里余多樂ハ周廻七里余其他同郡ニ屬スル嶋嶼八アリワキル、「島」モシリカ「島」アキワキル、「島」ハルカルコマン「島」辨天島「トモシリモシリ島」ハボマイモシリ「島」ボシハボマイモシリ「島」是ナリ辨天島周廻九町余其他詳ナラス又同國野付郡ニ一島アリ「ニシヨ島」ト云フ又水路志ニ依ルニ大小九島アリト云フ而シテ小高、イ

タシベ、黒百合、リウル、等ノ嶋名ヲ載ス此嶋同フシテ稱呼一ナラサルモノアリ且ツ此邊小嶋頗ル多ク概テ未タ實測ヲ經サルカ故ニ其詳ヲ知ル能ハス

○霧多布嶋○嶼暮歸嶋

此二嶋ハ釧路國厚岸郡濱中港ノ前海ニ在リ霧多布ハ周廻約一里アリ寶曆年代商船多ク此嶋ニ來リ納紗布、知床、國後、ノ土人來リ交易ス故ニ三所ヲ霧多布領ト稱ス
嶼暮歸ハ霧多布ヲ距ル西凡二十町ニ在リ周廻詳ナラス

○由留里嶋○母由留里嶋

厚岸郡ノ東部落石灣ノ前海ニアリ小ナルモノヲ母由留里ト稱ス此他該嶋近傍二三ノ小嶋アリ

○辨天嶋○喜物邊嶋○晴田嶋○彌雲野津嶋○西休嶋

右辨天島ハ根室港門ニアル一小嶼ニシテ周廻九丁餘ニ過
キス燈臺ヲ設置スルハ此嶋ナリ喜物邊以下ノ四嶋ハ野付
湖中ニアル洲嶋ナリ水路誌ニ依レハ喜物邊ハ雉兔群集シ
晴田ハ土人菜草ヲ蓋藏シテ常食ニ供スト周廻皆詳ナラス
○大黒嶋○牡蠣嶋

厚岸郡仙鳳趾灣ニ對シ床潭岬ノ南ニアリ高三百七十尺周
廻凡三里峻壁峭立赤楊繁稠シ昆布ヲ産ス別ニ一小嶼アリ
舟子等大ナルモノヲ大黒小ナルモノヲ小大黒ト稱セリ
ト云フ(蛭子島ト云フモ)牡蠣島ハ内部厚岸湖中ニアリ牡蠣
凝着遠望スレハ霜雪ノ如シト有名ノ牡蠣罐詰ハ此湖島ヨ
リ採取スルモノナリ水路誌ニ依レハ五嶋アリト雖モ小嶼
ハ湖ノ干満ニ從テ隱見スル礁石ナルカ故其實五六ノ少數

ニ非スト云フ

○利尻島

即チ利尻郡ナリ北見國宗谷郡濃斜布岬ノ西南ニアリ宗谷ヨ
リ三十一海里禮文嶋ヲ距ル六海里嶋ノ中央ハ北緯四十五
度十分十五秒東經百四十一度十三分三十秒ニ當ル周廻凡
十五里十六町余(地誌提要九里三)十六年一月戸數九十社一
人口五百四十六アリ全嶋ヲ六村ニ分ツ(前文郡村ノ)物産ハ
鯡、鱈、海鼠、薪、木材各種ノ蔬菜アリ

○禮文島

即チ禮文郡前同國利尻島ノ西北凡六海里ニアリ宗谷ヨリ
凡三十六海里余北端北緯四十五度二十六分三十秒東經百
四十度五十六分周廻凡十六里余(地誌提要十二里)十六年一

月戸數九十社一人口六百六十九全島ヲ四村ニ分チ(郡發村ノ項發者)

物産ハ利尻島ト大同小異ナリ

○燒嶋シヤク○天賣嶋アマ

二島相並ヒ天鹽國苦前郡苦前ノ西北ニアリ燒島ハ苦前ヨリ相距ル海里十三里周廻三里二十町余中央北緯四十四度二十五分三十五秒東經百四十一度二十一分二十秒十五年一月戸數六十八社一人口二百六人アリ天賣島ハ燒島ヨリ海里凡十六里餘ヲ距テ周廻二里二十五町余中央北緯四十四度二十五分東經百四十一度二十六分十五秒同上戸數二十六社一人口九十三アリ

○奥尻嶋

即チ奥尻郡後志國久遠郡久遠村ヨリ海里凡十五里余周廻

十五里三十二町余東西三里三町南北五里十八町面積凡九方里十七年一月戸數五十九人口二百六十二全島ヲ四村ニ分ツ物産專ラ海産ニアリ鰯、海鼠、鮑、鱈、昆布、薪、炭、等ナリ舊時ハ勤番所ヲ此ニ設ケ病院出張所ヲ置ケリ郡區改正後郡役所ヲ久遠ニ設ケ本郡ヲ管理ス一説ニ云フ享德三年武田信廣ノ蝦夷ニ入ルヤ舟師ヲ率ヒ此嶋ニ來リ蝦夷ヲ攻メ蠣崎氏防禦力盡キテ降ルト舊幕府安政年間奉行ヲ置クニ及ンテ徒刑人ヲ置クノ地トス

○大嶋○小嶋

二嶋共ニ松前郡ニ屬シ大島ハ同郡江真町村ノ西二十七海里ニアリ東西一里八町三十間南北三十一町三十間周廻凡三里十一町十四間北緯四十一度三十分十秒東經百三十九

度十九分全嶋樹木ナク火山ノ消盡セシモノナリト云フ山頂海面上二千四百六十尺海狗四時群ヲ爲シ山腹ニ鳧(方言オメ)ノ巢窟夥多アリ○小嶋ハ松前ノ西微南十二海里ニ在リ東西十六町四十間南北十二町周廻凡一里二十二町二十三間山頂海面上千十尺樹木繁茂シ鳧ノ巢窟大嶋ニ比スレハ一層多シ松前邊卵子ヲ市上ニ鬻クモノ皆此嶋ヨリ採ルモノナリ

○ 鷗嶋

江差港門ニアル一小嶋ナリ海岸ヲ距ル僅カニ二百三十間余東西三町二十八間南北七町四十六間周廻二十五町余ニ過キス

○ 大黒嶋

室蘭港門ニアル一小嶋周廻僅ニ六町ニ過キス安政年間米人彼^ル理ノ日本紀行ニ往昔同國ノ船將武老嘸ノ部下於辣損死シテ葬ル所ナリ故ニ名ケテ於辣損島ト云フト北海道志ニ載セリ(室蘭港ノ部) (参考スベシ)

○ 得撫島 共三島

本島以下ハ明治八年樺太千嶋交換ノトキ我版圖ニ歸シタル十八嶋ノ内ナリ此島ハ其最南ニアル三嶋ニシテ得撫郡ト稱ス第一嶋ハ長サ凡五十七里幅廣キハ凡十四里狭キハ凡七里北緯四十六度五分五十六秒東經百五十一度十一分二十七秒西南十一海里ヲ隔テ擇捉嶋ノ葉取郡ニ對ス港灣ハ小舟港(港見ユノ部)アリ土地ハ極メテ山岳丘陵多シト雖モ他ノ諸島ニ比スレハ膏腴ナリト云フ物産ハ海藻ニハ黒菜、

裙帶菜、鹿角菜、陸草ハ秋冬、百合、各種木ハ水松、樺、赤楊、魚類ニハ紅鱒、獸類ハ海獺、海馬、海豹、狐、等ナリ交換ノ時此島ニアレウト人三十三人十一戸ヲ爲シ未タ其去就ヲ決セザリシガ後十一年八月我官吏該島ヲ巡視スルニ當テ一人モ在ラザリント云フ蓋シ露國ノ迎船來テ移轉セシメタルモノナラソ現今松前ノ栖原小右衛門年々該嶋ニ於テ漁業(鱒漁ヲ重トス)ニ從事セリ

○チエルボイ島 第二島

得撫島ノ東北ニ位シ距離十一海里ニアリ二個ノ小島連絡ス

○プロトン島 第三島

チエルボイノ西北十海里ニアル一小島ナリ

○新知島 共三島

即チ新知郡ニシテ西南海峽凡五十六里ヲ隔テ得撫島ニ對シ東北海峽凡十六里ヲ隔テ本郡第二島ニ對ス北緯四十七度九分四十五秒東經百五十三度十三分五十一秒長サ凡二十八里幅六里乃至三里峯岳多ク其間小樹林アリ港ハ「プロトン」港(港見部)アリ海陸草木ハ得撫島ト大同小異魚介ハ鮭、栗貝、等アリ獸類海獺、海馬、海豹、狐等ニシテ狐ハ黒、赤、斑ノ三種アリ野鼠極メテ多シト云フ交換ノ際アレウト人種五十九人アリ十三戸ヲ爲セリ去就ヲ決セシムルニ及ンテ皆露國ニ去レリト聞ク

○チトイ嶋 第二島ナリ

西南海峽ヲ隔テ第一嶋ニ對シ東北海峽凡十三里ヲ隔テ第

三嶋「ウシ、ル」島ニ對ス東西凡六里南北二里半ニ過キス島
上山嶽多シ海岸巉岩船舶碇泊ニ便ナラスト云フ

○スレト子ハ島○ウシ、ル嶋 第三島ナリ

二島連接スルヲ以テ併セテ第三島ト稱ス西南ヲ「ウシ、ル」
ト云ヒ東北ヲ「スレト子ハ」ト云フ「ウシ、ル」ヨリ西南海峽凡
十二里ヲ隔テ第二島「ケトイ」ニ對シ東北ハ海峽凡五里ヲ距
テ新知郡「ラスコケ」(島是ナリ)ニ對ス樹木少シ嶋峯峭立遠望
スレハ一岩礁ノ如シト云フ其長_{西南}凡三里其幅七八町
乃至三四町二嶋ノ連絡ハ小岩相續キ凡四町ニ過キスト云
フ

○ラスコケ島 又「ラシユ」ト云フ
第四島ナリ

東北海峽凡十七里ヲ隔テ第五嶋「マツア」ニ對シ東西凡六里

南北亦之ニ同シ

○アツア嶋

北海峽凡五里ヲ隔テ、第六嶋「ライコケ」ニ對ス南北凡八里
東西凡四里

○ライコケ嶋

東北凡二十三里ヲ隔テ占守郡第九嶋「ムシル」ニ對シ東西凡
三里半南北凡三里

○占守嶋

追補
即チ占守郡九嶋ノ第一嶋ナリ北緯五十度四十三分二十五
秒東經百五十六度十一分五十七秒東北露國東察加南端ノ
「ロバートカ」岬ニ對シ西方ハ二十二海里ヲ距テ第二嶋「アテ
イト」ニ面ス其西南ハ小クリル海峽ヲ挾テ「パラムシムル」嶋

ニ隣ル又南ニ鳥嶋名クル一小嶋アリ而シテ本嶋ハ地勢南北ニ長ク東西ニ短シ東北ヨリ西南凡十五里西北ヨリ東南凡十里嶋中ハ高山ヲ見ス平坦原野沼澤アリ清泉アリ夏好ノ飲水ヲ得物産ハ陸草ハ薺、菊、花菜、蕎麥、野豌豆、コシヤク、蒲公英、蝦夷菊、木賊、虎杖、其他種類多シ海草ハ昆布、鹿角菜、裙帶菜、ノ數種アリ木ハ五嶺松、尺楠木、楊、檜、其他灌木アレントモ概シテ短小家屋營工材ニ乏シト云フ魚貝ハ鱈、カサカ、比目魚、鮭、紅鯛、海扇、刺螺等ナリ鳥獸ハ鳥、鷗、赤狐、野鼠、海馬、海豹、獺、サ、チツブ、ノ類又砂鐵、石英、雲母、花崗石、等堆積スル地アリト交換ノ際村ヲ爲ス二所一ハコタンニト稱スル西北部湖水ノ流末海濱ニアリ一ハチボイネ灣ノ畔ニ住ス戸數(明治九年)九戸七戸チボインチニ一人口(同上)三十五人總テクリル固有ノ

人種ナリ十五年十月官吏巡視ノ際現員二十八人外ニ露人七人寄留セリ

○アタイト嶋 第三島

東ハ第一嶋占守ニ對シ南第三嶋「パラムシル」ニ面ス南北凡七里東西凡六里ニ過ス本嶋ハ周廻斷崖唯南部ノ丘陵稍低海ニ突出スルノミ他ニ岬角ナシ山ハ高程「パラムシル」ノ諸岳ト相同フシテ夏時山々白雪ヲ戴キ巖々トシテ中天ニ聳立シ樹木尤少ク嶮惡ノ爲メ舟ヲ近クモノナシト云フ

○パラムシル嶋 第三島

東北ハ小クリル海峡ヲ挾テ第一嶋ニ接シ其西南ハ「アンヒットライト」海峡ヲ隔テ「サネコマン」ノ東北角ニ面シ北西ハ第四嶋(二十七里沖)ニ面ス北緯五十度十分東經百五十五度

十八分九秒(嶋ノ南西)本嶋ハ長サ凡五十八里幅十一里乃至十八里得撫以北ノ最大嶋ナリ東北端三峯聳立シ最高ハ海面ヨリ三千尺ニ下ラス航海者ノ標的トナスベシ港灣ナク海岸絶壁且岩礁出沒シテ小舟ヲ穢スルニ便ナラスト云フ小クリル海濱南西端ヨリ五六里ヲ隔テ西北ニ一嶋アリ「シリンキ」ト稱ス周廻凡六里アリ從來「バラモシル」嶋ニ併テ之ヲ稱ス物産ハ新知嶋ト大同小異ナリト云フ

○マカンルシ嶋 第四島

東北海峽二十七里ヲ隔テ第三嶋「バラモシル」ニ對シ東南ハ第五嶋「チネコマン」ニ面ス東西凡六里南北凡四里西南ニ一小嶋アリ「アチウス」ト稱ス本嶋ニ屬スルモノナリ

○ヲネコタン嶋 第五島

東北第三嶋「バラモシル」ニ對シ其西北ハ第四嶋「マカンルシ」ニ對ス又西南ハ海峽九里ヲ隔テ第六嶋「カレムコタン」ニ隣ル長サ北々東ヨリ南々西凡二十四里幅五里乃至十里本島北面ニ六灣アリ第一第二ノ灣ハ詳ナラスト雖モ第三灣ハ海濱東ヨリ西長キコト四町許一河アリ河口廣サ四間砂礫點々露出ス此ニ往古土民穴居ノ跡アリ此灣ハ灣入スルコト甚タ深カラスト雖モ水瀕砂地小舟ヲ穢スルノ便アリ第四灣ハ灣内廣サ僅ニ二町ニ過スト雖モ北面ニテハ第一ノ良灣ニシテ中央ニ一小河アリ廣サ二間半此處モ往古土人居住セシト見ヘ河ニ沿ヒ屋柱(土室ノ四面)ノ朽腐セルモノアリ一阜丘ノ上ニ土室戸扉尙存シ其去ル近キニアルヲ徵セリト云フ第五灣ハ第四灣ヨリ東北海涯ニアリ水底皆

磐石ニシテ退潮ニハ深サ二町有餘ノ渾ニ出ルモ六尺ニ滿
 タス故ニ小舟ヲ楫スルコト能ハス灣内ニ一大流アリ河ニ
 迦ル二町餘ナレトモ其廣サ四間餘アリ南向澤ヲ繞ツテ入
 ルヲ六七町東西ノ阜陵相距ル約四町其中央ハ平野ナリ第
 六灣ヲ陸地ヲ去ル凡十町許ニシテ深十尋ナリ湖流甚々遅
 ク殆ント池ノ如シト云フ又南面ニ一大灣アリ
 本島ハ島上ニ四峯中立シ其一ハ南西端ニアリ他ノ三峯ニ
 比スレハ四分ノ一ナルヘク其二ハ北西第三灣ノ南部ニ在
 ルモノニシテ四峯中ノ最高トス其三ハ北面ニ位シ又其四
 ハ南部ノ海岸ニアリ斷巖屏ノ如クコトニ嶮惡ナリト云フ
 此灣ハ第四峯ノ下ヨリ西々南ニ弧形ヲ爲セリ内部ニ一大
 丘陵アリペンキ塗ノ破船材ヲ以テ造營セル家屋二十戸ア

リ室内ニ魯文數語ヲ書記スレトモ悉ク讀ムヲ得ス此レ數
 年前魯船難破一時假屋ヲ設ケ歸國ノ便宜ヲ待テルモノナ
 ルヘント云フ而シテ天度ハ第三灣河ノ西南ニ於テ北緯四
 十九度二十七分五十六秒東經百五十四度四十一分九秒ニ
 當リ草木類ハ大抵新知郡第一嶋ニ同シ

○カールムコタン嶋 第六島

東北ハ海峽凡九里ヲ隔テ第五嶋ヲチコタンニ對シ西南ハ
 海峽北三里ヲ距テ第七嶋エカールムニ面ス東西凡八里南北
 六里

○エカールム嶋 第七島

東北東ハ海峽凡二十三里ヲ隔テ第六島カールムコタンニ
 對シ東南ハ海峽五里ヲ距テ第八島シヤスココタンニ面ス

東西凡四里半南北四里西方ニ「チリシコマン」ト稱スル一小嶋アリ海中ニ峙ツ本嶋ニ屬スルモノナリ

○シヤスコマン島 第八島

東北ハ「エカルマ」ニ面シ西南ハ十三里ヲ距テ「ムシル」ニ對ス長サ凡十三里半幅廣キハ凡六里狹キハ四里此島ニモ土室ノ跡ニケ所十九戸アリ往古土人ノ居住セシモノト見ユ南北二灣アリ北灣ハ北ヨリ西ハ「エカルマ」「チリンコマン」ノ二嶋之ヲ遮リ東ハ本嶋ノ岳ニ依リ西南ハ同シク丘陵ヨリ西位ノ岳ニ依テ水面大ニ穩ナリ東西二岳アリ皆噴火樹木短小海涯ハ温泉數所ヲ沸騰ス南灣ハ詳カナラス草木類ハ新知郡ト大同小異ナリ

○ムシル嶋 第九島

海中散在ノ四島ヲ併セテ第九島トス皆小嶋ニシテ幅員一里半ヲ出ズ東北ハ海峽十三里ヲ隔テ第八嶋ニ對シ西南同二十三里ヲ隔テ新知郡第六島ニ面ス以上島嶼ノ概略ニシテ千島ノ内得撫以下ハ明治九年派出官探討ノ實況ヲ聞キ且爾後ノ景況ヲ折衷シテ大略ヲ記スルニ止ル

○第十三款 港灣ノ景況

本道港灣ノ良好ナルモノ甚ダ多カラスト雖モ先ッ其概況ヲ述レハ左ノ如シ

函館港 本港ハ今ヲ距ル二十二年前即チ安政六年六月ノ開港ニ係リ本邦五港ノ一ニ居リ全道第一ノ要港ナリ渡島國ノ南部ニ位シ北緯四十一度四十六分三十秒東經一

百四十度四十四分四十四秒(測候所)ニ當ル港内燈明船(戒
 礁丸)ノ内部南北約一里六丁東西二十一丁深サ四尋乃至
 七尋最深キハ十三尋其外部海口ハ南西ニ向フ其全体ノ
 地勢斗入スルヲ三十町余灣曲巴字形ヲ爲斯巴港ノ雅名
 アル所以ナリ船舶ハ西洋形汽船帆船常ニ數十艘ヲ泊シ
 日本形船ハ小ナクモ百四五十艘多キハ三百艘ニ至ル
 アリ○北海道水路誌ニヨレハ四時安穩底質最モ佳ニシ
 テ沙礁少ク錨爪爬入シテ走ラスト而シテ辨天砲壘ノ東
 邊ハ礁石及游沙背アリ燈船戒礁丸ヲ置テ標示ス○港内
 波止場ハ數ヶ所アリ其重ナルモノハ東濱町外國船(内國
 人上陸所モ亦此所ニアリ)豐川町西濱町等ナレトモ皆海
 岸尋常ノ荷揚場ニシテ埠頭ト稱スル程ノ結構ニアラス

但函館税關構内ニアルモノト船改所ニ屬スルモノハ稍
 構造整頓スルモノナリ三菱會社亦支店構内ニ之ヲ造ル
 ○港ノ淺深ヲ知ラシムルカ爲メ浮標三箇ヲ設置ス○船
 舶ノ出入ハ年々同シカラスト雖モ去十六年汽船出入一
 千八百壹艘風帆船出入千貳百貳艘日本形船出入八千六
 餘艘外ニ外國漁船風帆船出入各若干艘アリ而シテ之ヲ
 既往ニ徵スルニ西洋形ハ年々増加シ之ニ反シ日本形ハ
 次第ニ減スルカ如シ(船部ニ詳)○船改所アリ輸出物産ヲ
 檢査シ出港税ヲ收メ兼テ港内内國船ノ取締ヲ爲セリ
 般法華灣 同國龜田郡般法華村ニ屬ス惠山ノ北五里ニア
 リ海岸東ニ面シ灣入ス

森灣 同國茅部郡ノ北岸ニシテ灣ハ室蘭港ト南北相對シ

北緯四十二度六分四十一秒東經百四十度三十六分十五秒ニ當ル灣ノ廣サ約四町方位北ニ面シ灣内深三尋乃至八尋底質軟沙ニシテ錨爪爬入ス○埠頭ハ木造ニシテ長百四十一間四尺幅三間三尺アリ明治五年七月開拓使新道ヲ札幌函館ノ間ニ開設スルニ當リ建築學ニ有名ナル米人メチヨロー氏ヲシテ此工事ヲ負擔セシメタルニ同氏初メ砂原村(森ヨリ凡ニ三里半)ニ築カントセシカ更ニ此地ヲ相シテ築造(費用貳萬圓)セリト云フ深淺ハ潮流ニ從ヒ一定ナラスト雖モ退潮ニハ深サ一丈八尺五寸滿潮ニテ二丈三尺アリ大船直ニ下錨スルヲ得爾來室蘭ヨリ往復スル汽船ハ皆此ニ下錨セリ○出入船舶ハ汽船室蘭ヨリ定期往復シ外ニ風帆船若干艘ヲ泊ス然レモ平時碇泊スルモノ甚

々稀ナリ

白尻灣 前同郡ノ東部ニ屬シ森村ヲ距ル十一里十八町余海岸北東ニ面シ灣内廣狹詳ナラス深凡八間北緯四十一度五十五分五十六秒東經百四十度五十八分四十五秒ニ當ル

當別灣 同國上磯郡石別村(舊名當別村)ニ屬ス函館ヲ距ル六里余北緯四十一度四十四分三十九秒東經百四十度三十七分二十三秒方位南東ニ向フ深未測○船舶出入ハ日本形一ヶ年百四五十艘アリ○船改派出所ヲ置キ(毎年五月十日マシテ)以産物ノ出港ヲ檢査シ出港稅ヲ收ム

福嶋灣 同國松前郡ノ南岸ニ位シ北緯四十一度二十八分十二秒東經百四十度十七分十七秒ニ當ル灣ノ廣サ約六

町深十間半方位南東ニ向フ

吉岡灣 前同郡福島ト相距ル僅カニ一里西ニアリ北緯四十一度二十一分二十秒東經百四十度十六分灣内約三町方位南東ニ向フ○出入船舶ハ甚々多カラスト雖モ毎出入各百五十艘内外アリ○船政派出所ヲ置キ出港産物ヲ検査シ税ヲ收ム

福山港 前同郡ノ南部ニ位シ本道最南ノ港灣ナリ或ハ松前港ト稱ス福嶋ト相距ル西五里其東南ニ白神岬アリ陸奥ノ龍飛岬ト南北相對ス北緯四十一度二十五分四十一秒東經百四十度八分三十二秒ニ當ル港内東西凡十四町南北十町深サ六尋ヨリ十四尋ニ至ル港口南ニ向フ海底ハ砂石海岸ハ平盤石ナリ○該地ハ往昔松前藩ノ城下ニ

シテ海關ヲ此ニ置キ船舶出入ノ多キ全道第一ニ居レリ今ヤ士民四方ニ散シ昔日ノ繁華ヲ見ル能ハスト雖モ渡嶋國中函館江差ニ亞クノ地ナリ○去十六年ハ西洋形瀛船出入二百六十八艘同風帆船出入六十三艘アリ本年ハ該港ト函館間ヲ往復スル小瀛船増加シタレバ一層出入ノ多キヲ見ナルベシ○船政所アリ出產物輸出ヲ檢シ出港税ヲ收ム

江良町灣 松前郡ニシテ福山ノ北五里ニ在リ北緯四十一度三十二分二十八秒東經百四十度一分十五秒東西一丁二十八間南北五町十二間深二十四尋二尺灣口南西ニ面ス是地亦當別等ト同ク船政派出所ヲ置キ夏秋產物ノ出口ヲ検査ス

江差港 同國檜山郡ノ北部ニ屬シ福山ヨリ北十八里爾志郡乙部村ト相距ル僅カニ三里餘ニ過ス北緯四十一度五十二分十秒東經百四十度八分三十秒ニ當ル港ノ廣サ東西凡六町南北十町深五尋乃至七尋方位北及ヒ東南ニ向フ海底砂海岸盤岩或ハ砂濱○海岸ヲ距ル僅ニ二百三十間餘一嶋アリ嶋嶋ト云フ此間底質岩石深サ一尋ニ過キス嶋ノ東北碇泊場ハ約六七尋アリ船舶常ニ此ニ投錨ス○明治十六年ノ出入船漚船出入六十六艘西洋形帆船出入四十八艘アリ此地ハ渡嶋國中函館ヲ除キ將來港市ノ繁盛ヲ期スル所ニシテ現今小樽ト伯仲セリ

熊石灣 同國附志郡ノ北端ニシテ江差ヲ距ル凡九里北緯四十二度七分四十秒東經百四十度零四十五秒灣ノ廣サ

約五町方位南西ニ向フ○船舶ノ出入ハ甚々多カラスト雖モ日本形一ヶ年出入各三百餘艘アリ漚船ハ稀ニ出入アルノミナリ○船改派出所アリ出口物産ヲ検査シ稅ヲ收ム

室蘭港 瞻振國室蘭郡ノ南部ニシテ森灣ト南北相對ス此港ハ明治五年函館札幌間ノ新道建築ニ際シ新ニ開港スルモノナリ故ニ新室蘭ノ別稱アリ北緯四十二度十九分三十一秒東經百四十度五十八分五十秒ニ當ル港ノ廣サ南一里深サ四尋乃至五尋港口方位西ニ向フ水路誌ニ依レハ底質極メテ佳ニシテ深サ四尋ヨリ七尋ニ至ルト云フ○港門ニ一小島アリ大黒島ト云フ島ノ右ニアル岬ヲ時雨崎ト云ヒ島岬ノ間概礁石密布シテ船舶經航スヘカ

ラス其左ニ一岬アリ月見崎ト云フ此島近傍ハ深七八尋
内都ハ十尋ニ至ルト云フ嶋ヨリ三分ノ一ヲ航シテ繪鞆
ニ至ル又一灣アリ白鳥灣ト名ク○西洋形船ノ出入ハ森
灣日々往復ノ外去十六年中風帆船出入二百四十艘アル
ノ日本形ハ七十二艘ニ過キヌ○波止場ハ木造長二十
六間半アリ森往復漁船此ニ接近碇泊ス又荷揚場一所ア
リ○船政所アリ函館福山等ニ同シ

有珠灣 有珠郡ノ西部虻田郡ニ接ス室蘭ヲ距ル約五里北
緯四十二度三十一分四十四秒東經百四十度四十七分十
二秒ニ當ル港ノ廣サ南北凡十六町(一帯ニ東四町五丁)深
サ三尋乃至四尋港口方位南ニ向フ○本郡ハ伊達氏ノ家
臣移住(移住民ノ部ニ詳ニス)一大部落ヲ爲シ農産多獲内

地ノ景況ニ異ナラス○出入船舶ハ十六年中西洋形漁船
風帆船合計四十餘艘日本形ヲ合セテ百一艘アリ○紋籠
村ニ波止場アリ長六十間木造ナリ

勇拂灣 勇拂郡ニ在リ北緯四十二度三十七分五十二秒東
經百四十一度四十四分十秒灣口南ニ向フ○出入船舶ハ
十五年中三十一艘ニ過ズ

壽都港 後志國壽都郡ノ北部ニシテ北緯四十二度四十七
分四十一秒東經百四十度十三分十秒ニ當ル港ノ廣サ東
西三町南北五町深サ三十一尋ニ至ル海底盤岩及沙港口
北ニ向フ本港ハ壽都灣ノ一部ヲ云フモノニシテ本郡ト
歌樂郡トノ間一大灣ヲ爲シ東西一里十五町南北一里六
町正北ニ向ヘリ○船舶ノ出入ハ去十六年中八百七十九

艘内西洋形ハ瀛船出入四十一艘風帆船出入二十六艘アルノミ瀛船ノ出入年々増加日本形船ノ減少スル景况福山港ニ異ナラス○船改所アリ福山江差ニ同シ

岩内灣 同國岩内郡ニ屬ス壽都ヲ距ル北約十里ニアリ北緯四十二度五十九分三十秒東經百四十度三十分四十五秒ニ當ル港内東西八町南北七町深サ七尋港口方位北ニ向フ○船舶ノ出入ハ明治十五年中出港三百六十二艘入港三百八十五艘ニシテ内瀛船出入四艘ニ過キス○船改派出所アリ産物ノ輸出ヲ檢スル前ニ同シ

古平灣 同國古平郡岩内ノ東北約十二里ニアリ北緯四十三度十六分三十五秒東經百四十度三十六分五十秒ニ當ル港ノ廣サ東西凡八町南北十四町港口方位東ニ向フ深

未詳○船舶出入ハ十五年中出入合計七百四十六艘内西洋形出入十艘アリ○船改派出所アリ前ニ同シ

余市灣 同國余市郡ニ屬ス古平ヲ距ル東五里余ニアリ北緯四十三度十二分二十秒東經百四十度四十六分ニ當ル港ノ廣サ南北凡十町東西凡七町方位東ニ向フ

忍路灣 同國忍路郡ニ屬ス余市ト相距ル東僅ニ二里余北緯四十三度十二分五十五秒東經百四十度五十三分港ノ廣サ東西凡二町深サ三尋方位北ニ向フ

小樽港 小樽郡ニ屬ス始手宮港ト稱ス明治五年六月小樽港ト改ム元來小樽高嶋兩郡ハ灣ニ沿フテ市街相連ナリ其間一小川(ヲコバチ川)ヲ以テ兩郡ノ堺トスルカ故ニ通俗二郡ヲ合セテ小樽港ト稱ス北緯四十三度十一分三十

五秒東經百四十一度五十五秒港内ノ廣サ東西十五町南
 北十町深六尋方位東北ニ面ス本港ハ全道中函館ニ亞シ
 ヘキ要港トス然レモ鐵道布設後小樽ノ繁華稍西ニ移リ
 手宮日ヲ逐テ繁盛ヲ致スト云フ○船舶ノ出入ハ十五年
 瀛船出入三百二十二艘其外風帆及日本形船ヲ合計スレ
 ハ四千五百七十五艘ナリ○船政所アリ產物ノ輸出ヲ檢
 シ收税スル函館江差等ニ同シ
 埠頭ハ本港市坊ノ西端高嶋郡手宮町ニアリ此埠頭ハ札
 幌ヲ經テ幌内ニ通スル鐵道ニ連續スルモノニシテ結構
 極メテ堅牢(去十三年八月中竣功)全體木造ニシテ小舟二
 隻ヲ繫聯シ其上ニ抗打器械ヲ裝置シ築造セルモノナリ
 海岸ヨリ東南ニ向ヒ海水二十二尺餘ノ深サニ至ルマテ

突出構造シ繫船柱ヲ打チ二個ノ錨標ヲ設テ繫船ニ便ニ
 ス其長サ一千四百四十尺内九百尺ハ幅二十尺其餘ハ四
 十尺トナリ海面ヨリノ高サ八尺其左側全幅ノ半ニ軌道
 ヲ設ケ稍廣濶ノ所ニ至テ岐レテ二線トナル此レ列車ノ
 往復ニ便ナラシムルモノナリ入港船ハ大瀛船ト雖モ直
 ニ埠頭ニ横ハリ自由ニ貨物ヲ積込陸揚スルヲ得其便利
 固ヨリ喋々ヲ待タス

日方泊灣 久遠郡久遠村ニ在リ北緯四十二度十三分十五
 秒東經百三十九度五十一分三十秒東西一丁十八間南北
 一丁十五間灣口南西ニ向フ○出入船舶ハ日本形ヲ重ト
 ス稀ニ寄錨スル瀛船アリ

茶津灣 岩内郡ニ在リ灣口西ニ向フ深七尋餘其他詳ナラ

泊灣 古宇郡ニ在リ灣口西ニ向フ深七尋餘其他同上

伊奴留以志灣 前同郡深凡五尋灣口西ニ向フ

船淵村灣 美國郡ニ在リ灣口北東ニ面ス

石狩灣 石狩國石狩郡石狩河口ヲ云フ此ハ全道第一ノ大

川(河部參考)ニシテ有名ノ鮭漁場ナレハ毎年漁期即チ九十

兩月ハ大小船舶輻湊セリ北緯四十三度十四分五十七秒

東經百四十一度二十一分四十秒ニ當リ河口ノ廣サ東西

四町南北十町深サ一尋乃至五尋小漁船ハ十里餘遡航ヲ

得ヘシ其方位北ニ向フ船舶出入ハ十五年中千三百三十

一艘内西洋形出入百〇四艘ナリ〇船改派出所アリ出產

物ヲ檢シ收税スル前ニ同シ〇河口ノ改良事業ハ前年來
和蘭人水利工師フアンケンド氏之ヲ擔當シ精細ノ測量
ヲ爲セリト雖モ其後中止セリ

增毛灣 天鹽郡增毛郡ニ屬ス或ハ幌泊ト稱ス此地ハ天鹽
國ノ要港ニシテ北緯四十三度五十一分三十六秒東經百
四十一度三十分十五秒ニ當リ港ノ廣サ東西凡十二町三
十間南北凡七町深サ三尋半或ハ云フ六尋方位北ニ向フ
出入船舶ハ十五年中入百九十艘出百九十七艘アリ内西
洋形漁船出入各三十七艘アリ〇船改派出所アリ出產物
ノ出口ヲ檢シ收税スル前ニ同シ

留萌灣 同國留萌郡ニ屬ス增毛ニ亞ク要地タリ北緯四十
三度五十七分二十五秒東經百四十度三十六分二十五秒

灣内廣サ東西七町南北之ニ準ス方位西北ニ向フ出入船
船ハ十五年中入五十七艘出六十七艘内西洋形ハ出入各
二艘ナリ概テ留萌川口ニ繫泊スト云フ

苦前灣 同國苦前郡ニ在リ北緯四十四度十八分二十秒東
經百四十一度三十六分四十五秒東西凡七町南北凡二町
灣口北ニ向フ

浦川灣 日高國浦川郡ニ屬ス北緯四十二度十一分東經百
四十二度四十四分五十秒灣ノ廣東西五町深二尋半方位
西南ニ向フ井寒臺村ノ岬角海ニ斗出シ灣勢ヲ助ケ且礁
石灣側ニ起伏シ爲メニ舟泊ノ便ヲ得ルト云フ此地ハ日
高國中ノ一要港タリ船舶ノ出入ハ西洋形風帆船ノ航通
(函館ノ尤多シスル)年々増加スト雖モ漁船ハ稀ニ函館ヨリ往

復スルノミ○船改派出所アリ前ニ同シ

樣似灣 同國樣似郡ニシテ浦川ヲ距ル約三里半ニ過キス
北緯四十二度六分三十秒東經百四十二度五十四分二十
五秒ニ當ル灣ノ廣サ東西凡五町南北凡三町半港口方位
西ニ向フ東西二灣アリ半嶋斗出シテ之ヲ界シ東灣ハ深
サ二尋千石以上日本形船常ニ西風ヲ避ルノ便アリ西灣
モ亦小舟繫泊西風ヲ避クルニ宜シト云フ一ケ年船舶ノ
出入ハ浦川ト景況ヲ同フス

幌泉灣 同國幌泉郡ニシテ樣似ノ東南約七里ニアリ北緯
四十二度零五十四秒東經百四十三度八分三十七秒太平
洋ニ面スル最南ノ港灣ナリ灣ノ廣サ東西二町南北三町
深サ四尋港口方位西ニ向ヒ暗礁灣側ニ起伏シテ波濤ヲ

支ノ船舶ノ出入ハ浦川ニ亞ケリ

百

小越灣 前同國同郡小越村ニ屬ス方位西南ニ向フ岷泉灣ヨリ稍廣濶ニシテ海底ハ甚メ淺シ但日本形船ハ寄泊シテ西風ヲ避クルノ便アリ○又同郡油駒村ニ一灣アリ方位西ニ面ス灣内狹小ニシテ數艘ノ日本形船ヲ泊スルニ過キス

靜内灣 前同國靜内郡ニ在リ灣口西南ニ向フ深淺廣狹其他詳ナラス

釧路灣 釧路國釧路郡ニ屬シ北緯四十二度五十八分三十六秒東經百四十四度二十三分ニ當ル小岬斗出灣勢ヲ助ケ廣五町深サ八尋方位西ニ向フ岬ノ近傍暗礁甚布シ船舶多少碇泊ヲ得ヘシト雖モ時ニ或西風ノ難アリ長灣ト

爲スニ足ラス○船舶ノ出入ハ十五年中瀛船出十二艘風帆船出入百一艘其他ハ日本形船百三十餘艘而シテ此地ヨリ東三里二十七町ヲ隔テ昆布森ト稱スル一村アリ船舶ノ此ニ出入スルモノ十五年中瀛船出入各五艘風帆船及日本形ハ若干艘アリ釧路ト唇齒ノ關係アルヲ以テ此ニ併記ス

仙鳳趾灣 同國同郡ニ屬ス厚岸ヲ距ル五里五町釧路ヲ距ル凡九里半厚岸港内ニ接續シ大黒嶋ニ對スル海濱ナリ幅二十町許東南ニ向ヒ深サ三尋乃至十尋厚岸ニ比スレハ平穩ナラスト雖モ多少ノ船舶入泊シ風順ヲ候スルヲ得ヘシ

厚岸港 同國厚岸郡ニ屬ス東海岸著名ノ良港ニシテ北緯

百一

四十三度一分二十八秒東經百四十四度五十二分十六秒
 ニ當リ東西三十二町南北二里十二町港口方位西ニ向フ
 水路誌ニ依レハ深大約三四尋底質佳真ニシテ錨爪爬入
 ス又北岸ハ沙渚漸ク低ク礁石蟠伏ス故ニ港廣クシテ泊
 地狹シト云フ港門ノ西岬ヲ仙鳳趾岬ト名ク(釧路郡)其東
 南暗礁一帶大ニ波浪簸掀ス東岬ヲ床丹岬ト稱シ内部ニ
 在ルヲ磐螺山ト名ク其東南ニ方テ二嶋アリ大ヲ大大黒
 小ヲ小大黒ト呼ヘリ其中間ハ礁石參差羅布シテ一小舟
 モ尙通スル能ハヌ又内部ニ一大湖アリ山溪九條下流皆
 之ニ注入ス湖中五嶋アリ悉ク牡蠣凝着ス所謂牡蠣嶋是
 ナリ○船舶ノ出入ハ専ラ夏秋ニアリ十五年ハ漁船出入
 各十三艘風帆船出入各四十三艘日本形ハ僅々十餘艘ニ

過キヌ但本港ハ根室函館間往復ノ氣船往々寄錨シ大ヒ
 ニ運輸ニ便ナリ○船改所アリ前ニ同シ○明和三年外國
 船始テ來泊シ安永七八兩年及寛政八年又來泊ス和蘭人
 ハ此港ヲ喜望港ト稱スト云フ

濱中灣 同郡ニアリ厚岸港ヲ距ル九里餘北緯四十三度五
 分東經百四十五度七分ニ當リ東西三十四町南北一里十
 五町灣口南東ニ向フ本灣ニ接シ霧多布、嶮暮歸ノ二嶋ア
 リ而シテ霧多布ハ東ニ面シ自然ニ灣形ヲ爲セルカ故ニ
 灣内廣濶風浪ノ險ナク大小ノ船舶ヲ碇泊スルヲ得ヘシ
 ○船舶ノ出入十四年ハ漁船出入二十四艘風帆船同八十
 餘艘アリ日本形百石以上ハ出入各十六七艘ニ過ス同十
 五年出入各十五艘其他ハ前年ト大同小異ナリ○船改派

出所アリ前ニ同シ

落石灣 厚岸郡ノ東端ニアリ根室ヲ距ル凡六里灣ハ北ニ
向ヒ甚々廣濶ナラスト雖モ深サ五六尋數隻ノ和船ヲ碇
泊スヘシ嚴冬ニハ海汀五六十間氷結スト云フ然レトモ
繫船ニ妨ナシ

根室港 根室國ノ東部ニシテ北緯四十三度二十分東經百
四十五度三十五分ニ當リ西北ハ野附西別ニ對シ北微東
ハ國後ニ面シテ一港ヲ爲ス港内廣サ東西六町南北七町
深サ三四尋港口方位北ニ向フ港門ニ一小嶋アリ辨天嶋
ト云フ東北ニ燈臺アリ水路誌ニヨレハ嶋東ハ深フシテ
船舶通行シ嶋西ハ礁脈砂背紛錯シテ殆ント航路ヲ絶シ
港内ハ底質醜ニシテ錨爪爬入シ難ク港門狹窄往來便ナ

ラスト云フ而シテ港ノ東西陸地ハ平原ニシテ海岸ハ巖
石起伏ヌ又西北ノ風患アリ軍艦等ハ概テ嶋ノ東方ニ依
泊シ商船ハ嶋南ニ碇泊スト云フ○十四年ノ出入船ハ出
二百艘入二百七艘ニシテ内漁船出五十四艘入五十三艘
風帆船出百二十八艘入百二十九艘其他ハ日本形トス十
五年ハ漁船稍増加シ出六十四艘入五十三艘アリ風帆船
出百十六艘入百九艘日本形五十石以上出二十二艘入二
十七艘其以下小船出入數百艘アリ船舶晚春ヨリ入港シ
夏秋尤多シ○船政所アリ函館等ニ同シ

西別灣 根室野付兩郡ノ間ニアル西別河口ヲ云フ水路誌
ニ依レハ納沙布岬ヨリ西微北二十六海里餘ノ地ニアリ
河源二十里餘幅約チ二百四十尺アリ河口ヨリ東北約二

鍵(二十鍵ハ百)深五尋底質稍可ナリト雖モ甚々淺フシテ通航ニ勞アリト云フ

標津灣 同國標津郡ニ屬ス灣門ハ東國後嶋ニ對シ其極東ニ知床岬アリ灣内深三尋乃至五尋平時買舶甚々稀ニシテ秋時東部ヲ經航シ樺太ニ赴クモノ此ニ寄泊スルノ便アリト云フ

野付灣 同國野付郡ニ屬ス東ニ一岬アリ國後及ヒ納沙布岬ト相對ス北緯四十三度三十三分十一秒東經百四十五度二十七分三十六秒ニ當ル水路誌ニ依ルニ海岸平沙汀際更ニ深ク岬前ニ淤沙背アリ錨地ノ深サ約三尋底質軟沙ニシテ錨爪爬入シ山風ヲ凌グニ宜シト云フ内部ニ野付湖アリ三灣一門ヲ成ス湖門ノ深サ二尋ヨリ三尋ニ至

ル商船此ニ依泊ス出入船舶甚々稀ナリ

妮丹港 本港ハ根室國花咲郡ニ屬スル十一島ノ一妮丹島

(或ハ志古丹ト書ス)ニアリ北緯四十三度五十分十四秒東經百四十六度四十九分二秒ニ當リ港口方位北ニ向フ本島及他ノ諸嶋ハ夏秋ノ際昆布採收ノ爲メ茅屋ヲ構ヘ徙居スルモノ多シト雖モ春冬ハ人煙消絶スト云フ

網走灣 北見國網走郡ニ屬ス北緯四十四度二分東經百四十四度十四分三十秒東西凡五町南北凡十一町深五尋乃至十二尋方位東北ニ向フ出入船舶甚々稀ナリ

宗谷灣 同國宗谷郡ニ屬シ北緯四十五度二十九分十五秒東經百四十一度五十一分三十秒本道最北ノ港灣ナリ灣内東西四里南北同上深サ四尋乃至五尋半灣口北西ニ向

フ船舶出入ハ十五年中派船出入各一艘風帆船各三艘日本形ハ出入各四十艘許ナリ

枝幸灣 同國枝幸郡ニ屬ス北緯四十四度五十四分十五秒東經百四十二度三十三分ニ當リ廣サ東西凡十二町南北凡五町深三尋余灣口東北ニ面ス○船舶ノ出入ハ十五年中小大小二十艘以內ナリ

鷺泊灣 同國利尻嶋ニアリ濶凡二十町深凡四尋ヨリ十尋ニ至ル方位東ニ向フ

泊灣 千島國國後郡ノ西端ニアリ北緯四十三度二十五分三十四秒東經百四十五度五十一分水路誌ニ依ルニ其右岬ハ低フシテ長ク左岬ハ較高フシテ短ク荒艸繁蕪ス港内深三尋乃至五尋底質最佳ナリ其内部ハ山嶺綿亘シテ

北風ヲ防ク艦船二十商船二三百艘ヲ泊スルヲ得ヘント云フ港門ハ南ニ向ヘリ

振別灣 同國擇捉島振別郡ニアリ北緯四十五度三分三十五秒東經百四十七度三十分四十六秒ニ當ル廣狹深淺不詳灣口西ニ向フ水路誌ニ依ルニ本嶋港十三アリ此灣ヲ以テ第一トス之ニ次クモノハ内保（保）老問（老問）有萌（有萌）那（那）ノ三所ニシテ留別、別飛、（以上紗那郡）又之ニ次ク皆船舶ヲ碇泊スヘシト云ヘリ

右十三灣トハ振別以下六灣ノ外丹根（丹根）萌灣（萌灣）別單冠灣（別單冠灣）同本萌（本萌）紗那灣（紗那灣）上婉香灣（婉香灣）上藥取灣（藥取灣）取乙今牛灣（乙今牛灣）同マクヨマイ灣（ヨマイ灣）上等ヲ云フ歟

得撫港 同國得撫郡第一島ニアリ又小舟港（英稱）ト稱ス島

ノ東南部ニシテ東南ニ面シ廣サ東西五町南北四町深四尋半大艦ハ碇泊ニ便ナラスト雖モ小形ノ風帆船ハ碇泊スルヲ得ヘシ港口ノ西岸ヲ距ル殆ント五町有奇ノ海面ニ古墳狀ノ岩石アリ舟人之ヲ認テ入港ノ目標トス故ニ海面ヨリ入港セントスル必ス此岩ヲ左舷ニ見ルヲ約五町既ニ港口ニ至レハ此岩ヲ船軸ニ見ル然サレハ港口ヲ誤ルト云フ又暗礁ハ古墳岩ノ西ニ多シト云ヘリ

鐘灣 前同嶋東北部島中四大山ノ一ナル鐘山南西脚下ニアリ北緯四十六度五分五十六秒東經百五十度十一分二十七秒ニ當ル灣口西北ニ向ヒ深サ十八尋底質砂礫多ク灣ノ東六小溪ヲ隔テ一岬アリ岬前約二町餘巨岩屹立五六丈灣西ニハ二灣三丘ヲ隔テ又雌雄ノ岩石アリ高各二

丈許其狀雄象ノ雌象ヲ率ヒ河ニ飲カ如シ岩ヨリ南々西ニ町許ヲ距テ凡方二町ノ暗礁昆布之ヲ掩ヒ小舟モ通スルヲ得スト云フ

プロトン港 同國新知嶋ノ北東部ニアリ「プロトン」英稱ニシテ露稱ハ「ブレズナヤア」ト稱ス港口北ニ向ヒ幅二町半周廻七里港形ハ北ヨリ望メハ凹字形ヲ爲ス幅東西二里南北廣キ處二里狹キ處十四丁千嶋國第一ノ良港ナリト雖モ港門底質巨石多ク滿潮ノキ中央二尋ニ過キス其左右ハ一尋乃至一尋三分ノ一ナリ其水面昆布悉ク之ヲ掩ヒ短艇膠シテ進マス港内ハ極メテ深ク五十尋ニ及ツ所アリ其東部ハ交換ノ時土人ノ住居ヲ占ムル處ニシテ前灣十三四尋ナル處アリ灣ノ周廻山脈屹立屏障ノ

如ク大風起ルモ波濤平穩恰モ池沼ニ異ナラスト港門ノ
西岬日本岬北緯四十七度九分四十五秒東經百五十二度
十三分五十一秒ニ當ル

チボイ子灣「英稱マイロツバ」同國占守嶋ニアリ位置ハ嶋
ノ西南部小クリル海峡ニ屬シ「パラムシル」島ニ對ス灣口
西方ニ向ヒ北緯五十度四十三分二十五秒東經百五十六
度十一分五十七秒ニ當リ岸汀ヲ距ル九町許ニシテ深サ
七尋乃至八尋アリ底質砂礫船舶ヲ碇スルニ便アリ峽ノ
中流ハ滿潮ニハ北行シ退潮ニハ南行ス其速力一時間三
里ニ上下スヘシ海峡中此灣ヲ第一トス次ハ對岸ノ「バラ
ムシル」其次ハ「チツトマイ」灣ナリト云フ

チツトマイ灣「チボイ子」灣ノ對岸「パラムシル」ノ東部ニア

リ其弧形甚々深カラスト雖モ前岸占守ノ西部ニ對シ僅
ニ九十纜ヲ隔ルヲ以テ海面尤平隱ナリ然レモ東風ニハ
「チボイ子」灣ノ安寧ニ如カス其他ノ風位ハ皆避ルヲ得ヘ
シ灣内深キハ十四五尋ニ至リ二流アリ其南ニアルハ廣
サ五間深サ四五尺之ヲ遡ル一町余深一尺乃至二三尺ア
リ滿潮ニハ河水溢レテ蘆葦ニ漲リ清フシテ飲料ニ供ス
ルニ至ル其北ニアル一流ハ廣一間深サ一尺ニ滿マス亦
清流ニシテ飲料ニ充ツヘシト云ヘリ

チチコタン灣 占守郡第五島「チチコタン」ニ七灣アリ其一
灣ハ南西ニアリ最大ナリ其他ノ六灣ハ北面ニ在リ
シヤスコタン灣 占守郡第八島「シヤスコタン」ニ二灣アリ
其北灣ハ北ヨリ西ハ「ユカルマ」チリンコタン」ノ二嶋ニテ

風ヲ遮リ東ハ本嶋ノ岳ニ依リ西南同ク丘陵ヨリ西位ノ岳ニ依テ水面隠ナリト云フ其南灣ハ灣形甚々淺ク且波浪高シト云フ

以上港灣ノ大略ナリ此他船舶ヲ碇泊スルノ地位ナキニ非ス然レトモ港灣ト稱シ稍著名ナルモノハ概テ此ノ如シ其景況位置鋪地ノ適否等諸書載スル所精粗詳略一ナラス今僅ニ概況ヲ記シテ參考ニ供スルノミ

○第十四款

岬角ノ景況

岬角ハ全道海濱枚舉ニ違アラス今其著名ナルモノヲ掲ク經緯度ハ函館縣ノ實測ト曾テ舊開拓使備タリシ米國聯邦海軍大尉モルレー、エス、デー、イ氏ノ測量ニ依リ其岬角ノ尖端經緯度ヲ掲ク而シテ岬角斗出ノ間數ハ其詳確ヲ知ルサ

得サルカ故總テ省略ス、

渡嶋國

汐首岬 龜田郡ノ南部小安村ニ屬ス陸奥ノ大瀨ニ對ス地質概岩石北緯四十一度四十二分東經百四十度五十九分三十秒ニ當ル

惠山岬 同郡ノ東端ニシテ假法華村ニ屬ス惠山ノ山尾ナリ地質岩石北緯四十一度四十八分三十五秒東經百四十一度十二分十秒ニ當ル

洲根子岬 檜山郡ノ南部ニシテ上ノ國村ニ屬ス地質岩石北緯四十一度四十七分二秒東經百四十度四分三十三秒ニ當ル

矢越岬 上磯郡ノ南端ニシテ小谷石村ニ屬ス地質岩石北

緯四十一度二十九分二十八秒東經百四十度二十四分五十三秒ニ當ル

白神岬 松前郡ノ南端ニシテ陸奥ノ龍飛崎ニ對シ著名ノ岬ナリ地質岩石北緯四十一度二十二分十六秒東經百四十度十一分四十九秒ニ當ル

砂岬 茅部郡砂原村ニ屬シ駒ヶ嶽ノ山尾ナリ地質砂土北緯四十二度八分二十六秒東經百四十度四十三分五十秒ニ當ル又此岬ノ東南鹿部村ニ一岬アリ「テキマ」岬ト稱ス地質岩又砂原村ニ松谷岬アリ

辨天嶋岬 松前郡福山市街ノ西端ニシテ辨天島ノ尖角ヲ云フ地質岩石北緯四十一度二十三分四十八秒東經百四十度四分四十七秒ニ當ル

後志國

太田岬 久遠郡ノ西南ニ位シ太田村ニ屬ス地質岩石北緯四十二度十九分六秒東經百三十九度四十六分四十一秒ニ當ル同村又一岬アリ大鼻ト稱ス又長磯村ニ長磯岬アリ上古丹村ニ小歌岬アリ久遠村ニ稻子岬アリ地質皆岩石ナリ

持田岬 嶋牧郡ノ西端ニシテ原歌村ニ屬ス地質岩石北緯四十二度三十八分十九秒東經百三十九度五十分四十八秒ニ當ル

白糸岬 嶋牧郡原歌村ノ中央ニアリ地質岩石北緯四十二度四十一分九秒東經百三十九度五十三分三十三秒ニ當ル

辨慶岬 壽都郡ノ北端ニシテ政泊村ニ屬ス岩石北緯四十
 二度五十分十三秒東經百四十度十三分二秒ニ當ル
 青苗岬 奥尻郡即奥尻嶋ノ南端ニシテ青苗村ニ屬ス地質
 砂北緯四十二度三分四十五秒東經百三十九度二十七分
 三十秒ニ當ル又同村ニ一岬アリ群來岬ト稱ス地質岩又
 同村ノ東藥師村ニ二岬アリ一ヲ初松前一ヲ大掛石ト稱
 ス

稻穂岬 同郡ノ北端ニシテ釣掛村ニ屬ス地質岩石北緯四
 十二度十四分東經百三十九度三十四分ニ當ル又同村ノ
 東赤石村ニ一岬アリ赤石岬ト稱ス地質岩石
 雷電岬 岩内郡ノ西端ニシテ尻別村ニ屬ス地質岩石北緯
 四十二度五十五分四十九秒東經百四十度二十五分四十

二秒ニ當ル

神威岬 積丹郡ノ西北端ニアリ海岸ヨリ七町余ニ高十二
 丈ノ岩石アリ岬内順風ナレハ岬外ハ逆風ニシテ岬頭僅
 ニ五六十間ノ航路アルノミ其他ハ亂石海中ニ碁布ス又
 岬ヨリ五百間ヲ阻テ巨巖高十四丈其狀人ノ衣冠シテ拱
 スルカ如キアリ土人以テ神ト爲シ神威ト號ス北緯四十
 三度二十分二十五秒東經百四十度十九分五十秒
 祝津岬 高嶋郡ノ東北端ニシテ地質岩石又同郡ニ二岬ア
 リ一ヲ茅嶋岬ト稱シ一ヲ魚鬮岬ト稱ス地質皆岩石ナリ

膽振國

磯岐岬 有珠郡ノ南端ニシテ地質岩石ナリ
 繪鞆岬 室蘭郡繪鞆村ノ西南端ニシテ地質岩石又同郡ニ

四岬アリ一チ老名牛ト云ヒ一チ昆布刈ト云ヒ一チ祝津ト云ヒ一チ尖磯岬ト云フ皆岩石ナリ

天鹽國

雄冬岬 増毛郡ノ西端ニ在リ地質岩石北緯四十三度四十四分三十秒東經百四十一度十七分三十秒ニ當ル

日高國

襟裳岬 幌泉郡ノ南端ニシテ怪石數顆攢立斗出ス東海岸著名ノ岬ナリ北緯四十一度五十五分東經百四十三度十五分二十秒ニ當ル

釧路國

尻羽岬 釧路郡ノ東端ニ在リ

乙調子岬 厚岸郡ノ東南端ニシテ海面ニ平行スル四里余

北見國

野寒岬 宗谷郡ノ西北端ニシテ砂土磐岩ヲ以テ蔽フテ斗

出ス北緯四十五度二十六分四十秒東經百四十一度三十七分三十秒ニ當ル該岬ハ本道西北ノ盡頭ナリ

宗谷岬 前同郡ノ北端ニ在リ樺太嶋ノ「ト」崎ニ對ス北緯四十五度三十一分二十五秒東經百四十一度五十五分ニ當ル

能取岬 網走郡ノ北端ニシテ地質岩石斗出遠淺ナリ北緯四十四度七分三十五秒東經百四十四度十三分ニ當ル

知床岬 斜里郡ノ東北端ニシテ岩石斗出ス北緯四十四度二十一分東經百四十五度十八分三十秒ニ當ル該岬ハ北見根室ノ國界ニアリ東西場所東地西地ノ分界モ亦此ヨリ

分ル樺太ノ「シレトコ」嶺國後ノ祖父嶽ト鼎足ノ勢ヲ爲ス
根室國

野付岬 野付郡ノ東端ニシテ國後嶋ニ對ス地質沙北緯四
十三度三十三分東經百四十五度十八分十五秒ニ當ル
納紗布岬 花咲郡ノ南端ニシテ巖岩斗出ス北緯四十三度
二十三分東經百四十五度四十八分三十秒ニ當ル

千嶋國

虜向岬 國後郡ノ南端泊村ヨリ西南ニ出ル凡三里ニシテ
地質砂

乘戶岬 同郡ノ西端ニシテ地質沙洲

跡江岬 同郡ノ東端ニシテ巖岩斗出ス此他同郡ニ「テナイ
シ」エカボノツ「モイモト」ル「イ」等ノ諸岬アリ皆岩石ナリ

ノットロ岬 擇捉郡ニアリ地質岩石

クシノツ岬 得撫郡第一嶋ノ東南ニアリ其他「ノブ」ノツ「イ

ハレ」ノ「ユ」タ「テン」ヌ「ノ」ボ「カ」シ「トリ」エ「カン」ム「エ」ト「エ」ント「モ」
ノ數岬アリ

ロウレン岬 新知郡第一島ノ南頭ニアリ其他「ア」ロ「ン」テ「岬
日本岬」ノ二岬アリ

ケレネツセレ岬 占守郡第五島「チ」ネ「コ」タ「ン」ノ南東ニアリ
又第三嶋ニ「ゴ」ロ「ツ」セ「リ」エ「カ」バ「リ」エ「ヌ」プ「マ」エ「ア」ム「ナ」テ「シ」
井「ソ」ウ「セ」リ「エ」ト「リ」エ「チ」シ「ユ」エ「セ」ス「カ」テ「ネ」ク「シ」カ「ラ」ツ
ユ「ネ」ツ「ヤ」コ「ツ」ロ「バ」ート「カ」等ノ數岬アリ

以上岬角ノ大略ナリ

○第十五款 暗礁ノ景况

暗礁

暗礁モ亦岬角ト同ク全道實測ヲ了ラヌ今聞得ルモノニ付
概況ヲ掲クレハ左ノ如シ

渡嶋國

遠礁ニ龜ア郡尻廻岸凡七村百間深ヲ一距丈ル尺六町○
凡ル七八五町ニ深リ九周尺廻○サラキ礁七町ニ泉ア澤リ村海
二深尺一丈○福山礁内松深前一郡丈福一山尺港○遠礁リ槍周山
尺九○大根礁深同伏二木尺戸村○イタキ礁同同郡○六疊淵礁郡上
谷廻村凡海岸百五十間凡深サ町五尺アリ

後志國

稻穂礁ア岩内郡一船丈總二崎尺村ニ○日方泊礁凡久遠二郡十久間深村三周尺廻

膽振國

磯岐礁ニ有ア珠リ郡深礁五岐尺岬○鷲別礁ア幌リ別深郡三鷲尺余岬ニ○室蘭港内

石狩國

濃薑礁ニ厚ア田郡濃薑村間深ニ丈四尺四間○安瀬礁同
岸リワ周廻ル九一町三四尺八間未詳ニ○厚田礁一同郡厚ア田
八深尺一丈○押琴間同ニ郡ア押リ琴周村廻海七間ヲ五尺一町
中小谷、瀧ノ澤、赤磯、大島内等ノ數礁アリ

日高國

樣似礁ニ樣ア似リ郡深樣五尺灣○トコニ礁凡四灣尺内深○幌泉礁幌泉泉灣
深ニ四ア尺リ○小越礁深同四灣尺内

釧路國

落石礁リ厚深岸二郡ニア

根室國

海峽

猫頭礁ア花咲郡深六瑠瑠村一ノ東南八尺十七至町ニ〇タツミノ礁ニ同アリ

北見國

網走礁三町ニ郡ア網走深ヲ未詳ル凡

千島國

得撫礁得撫灣

新知郡第一島ア

第十六款

海峽ノ景況

海峽ノ景況大略ハ左ノ如シ

津輕海峽

中里郡三思十山七岬分ト東陸經奥百國四北一郡度矢二岬十ト相分望其東端ハ同島ニ國十度此

瑤瑤海峽

湖リ北洋海中ニ達相ス遺フノ潮路廻リ松前勢天信然レ坤位ニ幅流僅

根室海峽

十五度二十六分

宗谷海峽

分東經百四相北見國宗谷岬ニ露五里樺北緯四岬ノ度間四ヲ露口人

ヘイコ海峽

二秒東經百四十度三十二分ニ當ル此峽或ハ

擇捉海峡 一得海撫島ヲノ西南北ヨリ四十五度ノ東北五十分對ス凡百十

ボトツレ海峡(稱英) 新相知郡第一島六十海里北緯第四十度六分五秒

ダヤ子海峡(稱英) 新相知郡第十一島六十海里北緯四十七度二分五秒

スレト子ハ海峡(稱英) 新相知郡第二島三十三海里北緯四十三度十分

ナデサ海峡(稱英) 新相知郡第四島三十三海里北緯四十五度十分

ゴロニン海峡(稱露) 新相知郡第五島三十三海里北緯四十八度十五分

クリル海峡(稱露) 東占察加郡第一島ニシテノ東北ヨリ凡百七十里北緯五十五度五十分東經百五十六度三十六分

小シリル海峡 同ノ東北第一島ニシテノ南西ヨリ凡百七十里北緯五十五度五十分東經百五十六度三十六分

六度一里未滿此ナリ北緯五十五度三十分南緯三十分島分十秒小東岩五百六十五之十

フニ南島ヨリ東必里又此際ヲ過リ深ク凡ニカニシテ乃云

至十方モ七艘ヲ南得占守ノ航者ハ西多ラム底シルニ沿テ

第三海峡 占守郡第三島ニシテノ東經百五十五度五分

第四海峡 同郡第五島ニシテノ東北緯第四十九度五分

第五海峡 同郡第五島ニシテノ西北緯第四十九度四分

十二分東經百五十四度三十八分

第六海峽

同郡第五島「チ」ニ面ス相距離凡九里北緯四十九度十七分東經百五十四度四十二分

占守郡第二嶋「アライト」ノ東ヨリ第一嶋占守ノ間相距離ニ

十二里海峽アリ峽名ナシ

新知郡第四嶋「ラスコケ」ヨリ西南第三嶋「スレトチハ」ニ對シ

相距離凡五里ノ海峽々名ナシ

占守郡第九嶋「ムシル」ノ西南新知郡第六嶋「ライコケ」ニ對シ

相距離凡二十三里ノ海峽々名ナシ

占守郡第九嶋「ムシル」ノ東北第八嶋「シヤスコメン」ニ對シ相

距離凡十三里ノ海峽々名ナシ

前同郡第八島「シヤスコメン」ノ東北第七嶋「エカルマ」ニ對シ

相距離四里ノ海峽々名ナシ

前同郡第七嶋「エカルマ」ノ東北東第六嶋「カーレムコメン」ニ

對シ相距離凡二十三里ノ海峽々名ナシ

○第十七款 湖沼ノ景況

湖沼ノ稍著名ナルモノヲ擧クレハ左ノ如シ

渡嶋國

大沼ニ田郡崎下凡十里東北○小沼同所廻凡一里半ア其他馬

場沼同郡廻元沼福島三郡等アリ

膽振國

洞爺湖有別川ニ合ス湖中島嶼四ア凡十里直徑ハ凡三廻五十流

へ町頂ニ堂清島ハア廻冬八町凍ラ宇ヲ建ツ錫キズ土人之ヲ神水ト云

降確沼徑老郡十二丁五里間○宇津内沼丁勇拂郡一里南凡二里十三

湖沼

七支笏湖千北二勇拂二白者三下郡流千歲川廻凡七東里西歲三ノ里
 凡十越二郡町廻其他古樟沼淵洞沼並ニ在有リ珠等ナリ
 利別沼凡瀨二郡十郡廻歌嶋沼凡島三牧十郡丁周廻
 石狩國
 藻入洞沼丁札東幌西郡五篠町路南村北ニ屬ニ又町篠同路村沼又ト云沼ア周廻三廻里四
 餘里○樺戸沼廻樺未戸測郡周瓜洞沼回雨同龍上郡周其他幌向郡空知美良、
 浦志内、覺止、戸以上樺等ノ數沼アリ周回詳ナラス
 天鹽國
 珍苗沼天鹽八郡丁周南廻北一里

日高國
 駒形沼豐荷沼二廻沼未幌泉郡ニ在リ
 十勝國
 堀茅根沼リ當周緣郡凡ノ一東里半ニ在○生花苗沼凡同三郡周廻○湧洞沼
 凡同四郡周回○長節沼凡同三郡周廻○往蘭洞牛沼回中凡川四郡周○喜門
 沼凡同八郡周回等ナリ

釧路國
 厚岸沼一又里牡半堀周沼ト未詳フ或厚岸郡フノ三南ニ除アリ東西三里半南北
 ○藻散布沼一同里郡余周廻○聖布沼同郡上周○阿寒沼十阿餘寒里郡雌廻
 二嶽ノ東ノ西一ニ在里半大北沼三ナ里餘中四小島○白柳沼廻川十上餘郡周○
 摩周沼小同郡一ア周廻神六惠里知ト云フニ一屈斜路沼同郡中周ニ廻二五里小
 一島ヲア雄リ邪一忽ヲト塘云藻フ知ト云ヒ○常丹沼回厚一岸里郡餘周○千代節沼郡同

根室國

風連沼 三根室 拾郡 五周 町廻 拾南 北五 里東 町西 温沼 同郡 十周 町廻 南七 里東 〇
 野付湖 二野 此付 二郡 泊ニ 在湖 中周 四回 洲未 野付 一付 野ノ 物内 送部 島ニ 云テ 船 里東 〇
 加魚 群ヲ 雲野 津島 冬時 以ハ 水舟 網フ 製菜 草四 西シ 休テ 島食 云供 雄船 兎幣 〇
 フ、ア ン、ウ、子、ト ウ シ ヤ フ、ボ ンス キ ウ シ、以 郡上 花 等ノ 小沼
 アリ

北見國

網走沼 直徑 一郡 里半 凡七 里 〇 當 沸沼 凡同 六郡 里周 餘廻 〇 藻寄沼 同 同 〇 能取沼 里同 郡一 廻半 七 〇 猿 間沼 周 教 別 郡 二ノ 東 岸 二 西ア 八リ 廻郡
 北里 三十 里二 餘町 南 〇 矢 峻沼 半同 直郡 十廻 五 町里 〇 金 氣沼 餘同 直郡 二廻 十三 町里

〇 澁津沼 直徑 郡十 周五 町三 里餘 〇 常 丹沼 斜里 直徑 郡一 周 十 凡 町二 〇 猿 佛
 里二 等ナリ

千島國

東 〇 御 音沼 三同 十郡 町南 廻北 凡 十二 五里 町東 西 〇 美 祿沼 東同 西郡 十周 町凡 南一 北里 十五
 町 〇 賑 寄沼 二同 十郡 町南 廻北 凡 十二 五里 町東 西 〇 美 祿沼 東同 西郡 十周 町凡 南一 北里 十五
 北 〇 晒 止沼 西 十郡 町南 廻北 凡 十二 五里 町東 西 〇 美 祿沼 東同 西郡 十周 町凡 南一 北里 十五
 里 〇 當 路沼 東 十郡 町南 廻北 凡 十二 五里 町東 西 〇 美 祿沼 東同 西郡 十周 町凡 南一 北里 十五
 里 〇 當 路沼 東 十郡 町南 廻北 凡 十二 五里 町東 西 〇 美 祿沼 東同 西郡 十周 町凡 南一 北里 十五
 南 〇 當 路沼 東 十郡 町南 廻北 凡 十二 五里 町東 西 〇 美 祿沼 東同 西郡 十周 町凡 南一 北里 十五

第十八款

山林原野

北海道ノ山林ニ富ナル良材ニ饒カナル素ヨリ論ナシ然レ

山林原野

凡皇政維新前ニ在テハ林木ノ濫伐ヲ豫防シ或ハ苗木ノ種
植ヲ勸奨スルヲアルモ皆一時ノ命令ニ過スシテ森林ノ保
護ト培養トニ關シ永遠ノ洪益ヲ圖ルニ非ルナリ故ニ林政
未ダ立スト云フモ不可ナルナシ開拓使創置後往時濫伐ノ
弊ヲ矯正スルヲ務メ各廳布令スル所ノ禁令條則少シト
セス其一ニヲ舉クレハ左ノ如シ

函館縣下ハ舊開拓使函館支廳明治五年(三月)山林保護ニ關
スル條件數項ヲ各村ニ達シ十年五月野火取締規則ヲ設ク
(六月)官林材木拂下及炭燒營業規則ヲ設ク十一月(十月)開拓
使部分木仕付條例ヲ設ケ函館支廳管内ニ施行ス其法官地
ヲ貸與シ地味適當ノ木種ヲ栽植シ其幾分ヲ官納シ幾分ヲ
私取セシメ借地ヲ請フモノハ官貸地料ヲ收メス苗木ノ培

養看護ヲ擔當セシメ以テ木種ノ繁殖ヲ圖ル(十月)又令シテ
道路ノ左右五町以内ノ官林ニ於テ伐木ヲ禁シ其他檜松、落
葉松、五葉松、蝦夷松、珙楠樹、桂、厚朴、胡桃、栓、栗、檜、櫻、檜、楓、檜、月
桂、シウリ、シコロ、等ハ家屋舟車橋梁其他工業ニ必用ノ木材
ナルヲ以テ薪炭用ノ爲メ伐採スルヲ禁ス又白楊、柳、ハ官用
ニ供スルノ外都テ斬伐ヲ禁ス但漁業用等ニテ小枝ヲ伐採
スルハ區務所ニ申立認可ヲ得セシム十二年(三月)林木拂下
規則ヲ更正ス十三年(一月)管内各地ニ山林監吏ヲ配置シ山
林ヲ整理セシム置縣後地理課中ニ山林係ヲ置キ該事務一
切ヲ管掌シ林木拂下規則等多少修正増補アリシカ十六年
(十月)ニ至リ該規則從前ノ布令ヲ廢シ更ニ拂下規則ヲ定ム
(十七年一月)同時山林係ノ各郡ニ派出スルモノ服務心得ヲ

定ム尋テ派出山林係受持區畫ヲ定メ漸次山林ノ養護督察
ヲ整頓セリ而シテ山林事務ハ置縣後農商務省ノ所管ニ屬
シ更ニ山林費若干ヲ縣ニ下付セラレ該事務ヲ委托セラル
モノナリ故ニ山林係員ハ農商務省ノ職員ニシテ本縣ニ兼
務スルモノトス札幌根室二縣モ亦同シ

札幌縣下ハ舊開拓使札幌本廳所管ノ時明治四年(正月)札幌
郡下ニ示諭シ琪楠樹、刺桐、槐、櫻、桂、檜、桑、ヲ伐ルヲ禁シ尋テ白
楊ヲ伐ルヲ禁ス六年(六月)道路左右十間猥リニ伐木(電信線
家屋建築ノ障礙トナルモノヲ除ク)スルヲ禁ス七年(一月)伐
木規則ヲ定メ材木入用ノ者ハ民事局へ願出シム八年(九月)
石狩ノ如キ大河ハ兩岸一里以內ニ於テ伐採スルヲ禁ス十
年(二月)檜松、落葉松、五葉松、蝦夷松、琪楠樹、玉桂、朴、胡、桃、刺桐、栗、

槐、岩楓、石櫨、山櫻、山桑、^{ナチクモ}樺、等ハ家屋船車橋梁其他需用限ナキ
良材ナルヲ以テ薪炭用ノ爲メ伐採スルヲ禁ス(四月)山林監
護條例及林木拂下規則ヲ設ク(後改正)(八月)葡萄、獼猴桃、許可
ヲ得テ伐採セシム(十月)山林ヲ分テ官林、公林トシ官民共ニ
公林ニ於テ伐木スルモノト定ム官林ハ札幌郡白川、藤舞、真
駒內、上下八垂別、野幌、圓山、河川兩傍道路左右公林ハ上下手
稻、發寒、月寒、輪厚、厚別、嶋松、是ナリ十一年(十月)開拓使北海道
山林原野調査假條例ヲ設ケ又森林監護假條例ヲ定メ從前
本支廳示令等此條例ニ抵觸スルモノハ廢止ス(十二月)本廳
山林監守人規則ヲ定ム十二年(三月)幌內煤田近傍山林ハ鐵
道其他諸建築用材ノ調査了リ開採ノ順序實地確定迄官用
ヲ除クノ外伐採ヲ禁ス十三年(十月)開拓使部分木仕付條例

ヲ定メ本廳管内ニ布達ス函館支廳設クル所ノ規則ト大同
 小異ナリ是ヨリ先^(十一月)內務省十一年三月甲第四號布達
 ニ據リ施行シ是ニ至テ條例ヲ定ム十四年(一月)余市郡外四
 郡ニ山林係派出所ヲ設ケ所管ヲ定メ山林一切ノ事務ヲ管
 理セシム置縣後十五年(九月)之ヲ改メ余市岩内有珠留苗浦
 河厚田ノ六派出所トス十六年(七月)山林監守人心得ヲ定メ
 十一年中設クル所ノ看守人規則ヲ廢ス本年四月林区事務
 所例規ヲ定ム此他前後布令少シトセス此ニ省略ニ從フ
 根室縣ハ舊根室支廳ノ所管ノ時明治八年(九月)村落ノ爲メ
 要害トナルヘキ地ノ伐木ヲ禁ス之ヲ伐採スルハ人民ノ健
 康ヲ妨ケ河崖ヲ崩シ水防ヲ妨ケ道路園圃ヲ損スルコアル
 チ以テナリ九年(四月)船舶碇泊所并漁場昆布場等アル地方

ヘ制札ヲ立テ山林ノ取締ヲ嚴ニス十年(三月)官林ニ於テ猥
 リニ伐木シ且樹木ノ皮ヲ剝脱スルヲ禁ス又人民伐木ニ際
 シ自他紛紜ナカラシメンカ爲メ伐採ノ薪木等ヘハ刻印又
 ハ捺印セシム(七月)戸長ニ達シ網繩及衣類ニ製スヘキ柳^{シナ}楸^コ
 厚子ノ皮ヲ剝脱スルモノ自今根本ヨリ之ヲ切り萌芽ノ成
 長ニ注意セシム十二年(三月)林木拂下規則ヲ設ク(四月)在來
 ノ樹木ヲ保育シ各自地ニ適スル樹木ヲ培養セシム十三年
 (十一月)林木拂下規則ヲ更正ス置縣後十六年(七月)之ヲ更正
 シ尋テ(九月)山林監吏ヲ設置ス又林木拂下統計表調査書式
 ヲ定ム此他前後布令スル所ノモノアリ繁雜ニ亘ルヲ以テ
 省略ニ從フ

以上記載スル禁令條則ハ其重ナルモノ二三ヲ掲クルニ過

キス而シテ置縣後施設スル所ノ方法少異同ナキニ非スト
雖モ之ヲ保護督理シテ山林ノ洪益ヲ圖ルニ至テハ愈周到
精密ヲ期スルカ如シ

山林ハ全道未タ實測ヲ了ラス故ニ詳細ノ反別木種木數ヲ
知ルニ由ナシ今僅ニ其一班ヲ掲クレハ左ノ如シ

○渡嶋國

檜山郡官林

十ニ便一ナ反余木 種ク伶 南山 北郡 五 短 手 村 川 其 北 ス 登 ル モ ア ノ 地 形 以 東 西 二 輪 長
狹 同 郡 故 館 三 川 二 流 二 材 屈 ニ ス 使 ル ナ モ リ ノ 木 川 種 上 漢 流 二 柏 在 桂 川 流 別 柯 楓 黃 林
松 郡 毛 柳 村 等 二 屈 二 ス シ ル テ モ 別 東 凡 千 七 百 六 十 一 町 四 反 狹 二 除 般 フ
同 郡 柳 刺 桐 等 澤 二 部 屈 ス シ ル テ 合 別 凡 九 以 十 七 材 南 東 二 町 四 反 狹 二 除 般 フ
同 郡 柳 刺 桐 等 澤 二 部 屈 ス シ ル テ 合 別 凡 九 以 十 七 材 南 東 二 町 四 反 狹 二 除 般 フ
同 郡 柳 刺 桐 等 澤 二 部 屈 ス シ ル テ 合 別 凡 九 以 十 七 材 南 東 二 町 四 反 狹 二 除 般 フ
同 郡 柳 刺 桐 等 澤 二 部 屈 ス シ ル テ 合 別 凡 九 以 十 七 材 南 東 二 町 四 反 狹 二 除 般 フ
同 郡 柳 刺 桐 等 澤 二 部 屈 ス シ ル テ 合 別 凡 九 以 十 七 材 南 東 二 町 四 反 狹 二 除 般 フ

龜田郡官林

七 一 里 八 一 大 八 野 赤 川 川 首 兩 取 川 二 兩 岸 二 磯 在 村 二 龜 至 田 村 長 二 凡

茅部郡官林

ノノ 澤上 二流 在 二 山 一 毛 八 柳 又 楓 一 赤 八 楊 軍 月 川 提 樹 在 村 外 刺 桐 等 澤 二 部 屈 ス シ ル テ 合 別 凡 九 以 十 七 材 南 東 二 町 四 反 狹 二 除 般 フ
ノノ 澤上 二流 在 二 山 一 毛 八 柳 又 楓 一 赤 八 楊 軍 月 川 提 樹 在 村 外 刺 桐 等 澤 二 部 屈 ス シ ル テ 合 別 凡 九 以 十 七 材 南 東 二 町 四 反 狹 二 除 般 フ
ノノ 澤上 二流 在 二 山 一 毛 八 柳 又 楓 一 赤 八 楊 軍 月 川 提 樹 在 村 外 刺 桐 等 澤 二 部 屈 ス シ ル テ 合 別 凡 九 以 十 七 材 南 東 二 町 四 反 狹 二 除 般 フ

上磯郡官林

六内 里川 一上 八流 戸 二 切 在 地 川 長 凡 兩 四 岸 里 毛 五 上 松 村 海 岸 等 二 至 里 一 長 木 二 古 里

松前郡官林

一上 八流 二 島 在 川 一 長 上 凡 三 里 一 在 上 凡 二 半 上 里 一 凡 八 四 里 一 草 一 川 八 清

爾志郡官林

揚 善 提 樹 及 雜 樹 十 二 流 川 上 長 凡 三 里 一 在 上 凡 二 半 上 里 一 凡 八 四 里 一 草 一 川 八 清

此他詳ナラス

○後志國

太樺郡官林

東地勢狹南太樺川西北中央延長當リシテ西南ヨリ北

瀨棚郡官林

長一ハ「マ」南東ヨリ北西ニ云フシ地勢ハ西南ヨリ北東ニ

島牧郡官林

中一ハ「マ」流豐レ運ニ屬ス林勢四形ヲ爲シ毛樺、松、楡、

壽都郡官林

北同ハ黒松内岳ニア進リナ東リ山ニ越郡クニ南跨ルニ木短種シ

松、楡、松、山毛樺、等及別千九百四十四町

歌樂郡官林

央同ニ郡熱郭川アニ屬ス都東西ニ會長南材北ニ短メテ中

磯谷郡官林

尻別川右ヲ挾「メ」ニ林アフリ該川ニ面スルクナ「ア」

久遠郡官林

樹白別川兩岸長七里餘木種楡、松、楡、刺桐、其他雜

奥尻郡官林

山青苗川、岩、楓、内、白、楊、五、菜、松、其他雜樹半餘木種楡、

○石狩國

札幌官林

蝦夷札幌ニ在リ周回十五里二十六町餘木種楡、

白伊川官林

他同周回六里六町五十一間木種刺桐、岩、楓、其

藤舞官林

同郡周回十二里五町餘木種槐、朴、桂、蝦夷松、楡

初寒官林

同郡樹木楡、松、蝦夷松、桂、刺桐、周回十一里餘

八垂別官林

同郡樹木大同小異周回六里六町餘

野幌官林

同郡除樹木榎松、棋楠樹、朴、槐、十子タモ周回十一里餘

圓山官林

同郡樹木榎松、桂、岩楓、蝦夷松、周回十一里餘

厚別官林

同郡十樹木ヤチタモ、刺桐、榎松、蝦夷松、周回十二里

上手稻官林

同郡樹木榎松周回未詳

月寒官林

同郡樹木刺桐、石櫟、岩楓、周回九里二十六町餘

湯澤官林

同郡六丁樹木榎松、蝦夷松、刺桐、桂、岩楓、周回十五里

砥石官林

同郡樹木榎松、岩楓、黃檗、槐、周回五里一丁餘

輪厚官林

同郡樹木刺桐、石櫟、岩楓、周回未詳

輪津官林

同郡樹木ヤチタモ、黃檗、朴、周回三里八町餘

○膽振國

山越官林

川山兩越岸長凡八里野田種橋、月桂、黃檗、五里松、桂、棋部

楠樹、刺桐、山毛榉、榎樹、菩提樹、又二股川兩岸長凡六里榎松、蝦夷松、

洞爺官林

同郡未詳樹木玉桂、辨邊官林、同郡未詳松、

禮文華官林

同郡未詳樹木刺桐、今稀府官林、有珠郡

右ノ外輪西、千舞籃、鹿別、鷺別、來馬、登別、嶋松、等ノ官林アリ此

ニ省略ス

以上ノ外札幌根室兩縣下ハ土地廣漠人跡未タ至ラサルノ地アリ斧斤未タ入ラサルノ山アリ森林良材少シトセス今其詳ヲ知ルニ由ナシ故ニ此ニ掲載セス

○

原野若クハ澤地ノ大ナルモノ函館縣下各郡ハ少フシテ札幌根室兩縣下ニ多シ其一ニチ掲クレハ左ノ如シ

渡島國

中野 凡羅二田百部四錢十羅町澤步村
瓜谷野 凡上磯二郡百木古内町村
瓜野 凡部三島百村六十町名歩野
同郡 凡根三百六十町名歩野
野 凡同 六百三島村及歩別網配野
別 凡 六百三島村及歩別網配野
町 凡 七百六十町名歩別網配野
千 凡 六百三島村及歩別網配野
十 凡 六百三島村及歩別網配野
町 凡 六百三島村及歩別網配野
步 凡 六百三島村及歩別網配野
凡 凡 六百三島村及歩別網配野
大抵 百町歩以下ナリ

後志國

利別淨 凡瀨九郡千三郡
川 凡 五郡 四郡 十町村及別カキ
同 凡 十町村及別カキ
百 凡 十町村及別カキ
五 凡 十町村及別カキ
村 凡 十町村及別カキ
十 凡 十町村及別カキ
町 凡 十町村及別カキ
別 凡 十町村及別カキ
凡 凡 十町村及別カキ

膽振國

ブイ タウ ナイ 野 凡山越四郡
丁 凡 五 〇 侵別野 半同幅郡 凡長三町一里
拂野 里勇幅郡 凡七長里餘十二
野 里勇幅郡 凡七長里餘十二

石狩國

上川野 五上里川幅郡 凡三在里
野 南同 北郡 同上 凡一里
東 南同 北郡 同上 凡一里
北 西同 凡一里
南 同 凡一里
上 同 凡一里

十勝國

十勝野 周十回郡 未詳ニ在リ

天鹽國

天鹽野 周天回郡 未詳ニ在リ

温泉